



香川大学大学院医学系研究科

# 大学院ガイド2019

医学系研究科  
修士課程・博士課程

**KAGAWA**  

---

**UNIVERSITY**  

---

**Graduate School  
of Medicine**

**Master's  
and  
Doctoral  
Course**

**【香川大学シラバス検索画面】**

香川大学ホームページからアクセスしてください。

ホーム>学生生活・就職>授業、履修>シラバス

シラバス URL

<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/about-class/syllabus/>

シラバス QR コード



○香川大学大学院医学系研究科規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学大学院学則第4条第5項の規定に基づき、大学院医学系研究科（以下「研究科」という。）について必要な事項を定める。

(専攻)

第2条 研究科に、次の専攻を置く。

修士課程

看護学専攻

博士課程

医学専攻

(人材の養成及びその他教育研究上の目的)

第3条 修士課程は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としている。具体的には人々のQOL（Quality of Life）の向上を目指した科学的、実践的な課題解決ができる能力を有し、グローバルな視野で看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指す。

2 博士課程は、医学の領域において、国際的な広い視野を持った研究者として自立し、独創的な研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えるとともに、研究・生命倫理に関し高い見識を有する研究者を育成し、もって医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを目指す。

(教育方法)

第4条 研究科の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）により行う。

2 研究科の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(指導教員)

第5条 学生の研究指導のため、指導教員を置く。

2 指導上必要な場合には、副指導教員を置くことができる。

(授業科目及び履修単位数)

第6条 修士課程における専攻の授業科目及び履修単位数は、別表第1のとおりとする。

2 博士課程における各専攻の授業科目及び履修単位数は、別表第2のとおりとする。

(履修方法)

第7条 修士課程の学生は、在学期間中に第5条第1項に規定する授業科目について、次の区分により30単位以上を修得しなければならない。

- (1) 基盤科目 5 科目 10 単位以上
  - (2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6 単位
  - (3) 専門科目のうち、上記(2)の科目以外の特論を 2 科目 4 単位
  - (4) 研究科目 10 単位
  - (5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。
- 2 博士課程の学生は、在学期間中に第 5 条第 2 項に規定する授業科目について、次の区分により 30 単位以上を修得しなければならない。
- (1) 共通科目 6 単位
  - (2) 専門科目 所属するコースの 2 科目群のうち主科目を選択する。  
主科目 8 単位以上（主指導教員の開講する科目を 1 科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）  
副科目 4 単位以上（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。）
  - (3) 研究科目 8 単位
- 3 教育上有益と認められる場合は、他研究科等の授業科目を履修することができる。
- 4 学生は、他の研究科等の授業科目を履修しようとするときは、研究科長を経て当該研究科長等の許可を受けなければならない。

（成績評価）

第 8 条 授業科目の試験又は研究報告の成績は、秀、優、良、可又は不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とする。

（学位）

第 9 条 研究科において授与する学位は、修士又は博士とし、専攻分野として修士にあつては看護学、博士にあつては医学の名称を付記するものとする。

（雑則）

第 10 条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、医学系研究科教授会が定める。

附 則

- 1 この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 15 年 9 月 30 日に香川医科大学大学院（以下「旧香川医科大学大学院」という。）に在学し、かつ平成 16 年 3 月 31 日に旧香川医科大学大学院に在学する者（以下「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学等する者が在学しなくなるまでの間、旧香川医科大学大学院を修了するために必要とされる教育課程その他教育に必要な事項は、旧香川医科大学の大学院学則、大学院医学系研究科規程その他の規程等の定めるところによる。

附 則（平成 17 年 4 月 1 日）

- 1 この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成16年度以前に入学した者の教育課程及び修了要件は、改正後の第5条第2項及び別表第2の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（平成19年4月1日）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年4月1日）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。ただし、平成20年3月31日までに入学した学生については、なお従前の例による。

附 則（平成21年4月1日）

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年4月1日）

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年4月1日）

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年4月1日）

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年4月1日）

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成28年4月1日）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日までに入学した学生については、なお従前の例による。

附 則（平成29年4月1日）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年4月1日）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

別表第1

専攻	科目領域	授業科目	履修年次	単位
看護学 専攻	基盤科目	理論看護学*	1・2	2
		看護倫理学*	1・2	2
		看護研究方法論1*	1・2	2
		看護研究方法論2*	1・2	2
		看護教育学	1・2	2
		看護管理学	1・2	2
		臨床科学	1・2	2
		国際看護学特論	1・2	2
		養護教育特論	1・2	2
	専門科目	看護医科学特論	1	2
		基礎看護学特論	1	2
		急性期成人看護学特論	1	2
		慢性期成人看護学特論	1	2
		小児看護学特論	1	2
		母性看護学特論	1	2
		老年看護学特論	1	2
		精神看護学特論	1	2
		在宅看護学特論	1	2
		地域看護学特論	1	2
		看護医科学演習	1	4
		基礎看護学演習	1	4
		急性期成人看護学演習	1	4
		慢性期成人看護学演習	1	4
		小児看護学演習	1	4
		母性看護学演習	1	4
		老年看護学演習	1	4
		精神看護学演習	1	4
		在宅看護学演習	1	4
		地域看護学演習	1	4
		研究科目	特別研究	2

## 履修方法

- 1) 基盤科目 5科目10単位以上
- 2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6単位
- 3) 専門科目のうち、上記2)の科目以外の特論を2科目4単位
- 4) 研究科目10単位
- 5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

別表第2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
共通科目	医科学概論	1前	2			○	○		
	医科学特論	1前	2			○	○	○	
	希少糖科学特論	1後	1			○	○		
	研究・生命倫理	1前	1			○	○		
	小計(4科目)	—	6	0	0	—	—	—	
専門科目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ライフサイエンス科目群	希少糖の機能	1・2通		4		○	○	
		発達神経科学	1・2通		4		○	○	
		分子形態学特論	1・2通		2		○	○	
		組織細胞科学特論	1・2通		4		○	○	
		神経細胞生物学特論	1・2通		4		○	○	
		神経生理学	1・2通		4		○	○	
		生体分子センサー特論	1・2通		4		○	○	
		呼吸循環生理学	1・2通		4		○	○	
		循環生理シグナル伝達学	1・2通		4		○	○	
		薬理学特論	1・2通		4		○	○	
		脂質生物学	1・2通		4		○	○	
		酵素学実験法	1・2通		4		○	○	
		医用有機化学特論	1通		4		○	○	
		医用分析化学特論	2通		4		○	○	
		分子内分泌学	1・2通		4		○	○	
		核医学画像解析	1・2通		2		○	○	
		毒性病理学	1・2通		2		○	○	
		分子神経病理学	1・2通		4		○	○	
		免疫組織化学	1・2通		4		○	○	
		免疫制御学	1・2通		4		○	○	
		寄生虫学特論	1・2通		2		○	○	
		衛生動物学特論	1・2通		2		○	○	
		微生物ゲノム科学	1・2通		2		○	○	
		生活習慣病予防論	1・2通		2		○	○	
		臨床疫学	1前		1		○	○	
		生物統計学	1前		1		○	○	
		医療管理学	1後		1		○	○	
		健康危機管理論	2前		1		○	○	
		国際保健論	2後		1		○	○	
		法医学特論	1・2通		2		○	○	
		医学教育学特論	1・2通		2		○	○	
		遺伝情報解析学	1・2通		4		○	○	
		疾患ゲノム情報学	1・2通		4		○	○	
		生体分子立体構造学	1・2通		2		○	○	
		実験動物学・動物遺伝学	1・2通		2		○	○	
		糖鎖構造解析	1・2通		2		○	○	
小計(36科目)	—	—	0	105	0	—	—	—	

専門科目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	トランスレーショナルリサーチ科目群	希少糖と生活習慣病	1・2通	2	○	○
			バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2	○	○
			中耳・内耳バイオイメージング	2通	2	○	○
			形成外科におけるバイオイメージング	2通	2	○	○
			細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4	○	○
			生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4	○	○
			iPS細胞の応用	1・2通	2	○	○
			糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4	○	○
			発がん機構	1・2通	2	○	○
			免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4	○	○
			微生物共生システムと応用	1・2通	2	○	○
			健康測定・アセスメント	1・2通	2	○	○
			医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1	○	○
			医療政策論	1後	1	○	○
			死因究明技術の開発	1・2通	2	○	○
			タンパク質分子設計	1・2通	2	○	○
			精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4	○	○
			臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1	○	○
			臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1	○	○
			睡眠（終夜脳波システム）の臨床開発	1・2通	4	○	○
			認知症診断の技術研究	1・2通	4	○	○
			脂質異常症と心血管病	1・2通	4	○	○
			食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2	○	○
			周産期の脳発達と子供の健康	1通	4	○	○
			高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2	○	○
			近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2	○	○
			骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4	○	○
			前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2	○	○
			低侵襲手術術式の開発	2通	2	○	○
			癌とマイクロRNA	1通	2	○	○
			癌と遺伝子異常	2通	2	○	○
			分子イメージングの臨床応用	1・2通	4	○	○
			動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4	○	○
			病理診断学の臨床応用	1・2通	4	○	○
			神経保護薬の臨床開発	1・2通	4	○	○
			医工融合による医療機器開発	1・2通	1	○	○
			救急・生体侵襲制御	1・2通	2	○	○
			臨床栄養・微生物学	1・2通	4	○	○
小計（38科目）	—	0 101	0	—			



専門科目	高度医療人育成コース	臨床医・メディカルスタッフ養成科目群	希少糖医学	1前	1	○	○
			地域医療学	1後	1	○	○
			高齢者医療学	1前	1	○	○
			医療倫理	1前	1	○	○
			生活習慣病学	1後	1	○	○
			災害医療・災害医学	1後	1	○	○
			神経病学	1・2通	2	○	○
			脳神経外科学	1・2通	2	○	○
			運動器病学	1・2通	2	○	○
			精神病学	1・2通	4	○	○
			腎・泌尿器病学	1・2通	4	○	○
			感染症学	1・2通	2	○	○
			血液病学（血液・造血器・リンパ）	1・2通	2	○	○
			免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2	○	○
			呼吸器病学	1・2通	4	○	○
			乳腺内分泌外科学	1・2通	2	○	○
			消化器病学	1・2通	2	○	○
			循環器病学	1・2通	2	○	○
			母子周産期医学	1・2通	2	○	○
			皮膚病学	1・2通	2	○	○
			眼病学	1・2通	2	○	○
			口腔病学	1・2通	2	○	○
			頭頸部病学	1通	2	○	○
			耳鼻咽喉疾患学	2通	2	○	○
			放射線医学	1・2通	2	○	○
			痛み学	1通	2	○	○
			呼吸循環制御学	2通	2	○	○
			小児科学	1・2通	2	○	○
			内分泌代謝学	1通	2	○	○
			糖尿病学	2通	2	○	○
			救急救命医学	1・2通	2	○	○
			形態機能学	1・2通	2	○	○
			薬学	1・2通	2	○	○
			小児外科学	1・2通	4	○	○
小計（34科目）	—	0 70	0	—			

専門科目	高度医療人育成コース	がんプロフェッショナル養成科目群	共通コアカリキュラム	応用 研究 方法 論	がん疫学論 臨床研究論 医療統計学	1前		1	○						
				悪性腫瘍の 管理と治療	検査、診断法概論 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和 治療 老年腫瘍学 がんの心理社会的側面	1後		1	○						
					医療倫理学・医療経済学	1・2通		0.5	○						
					医療対話学	1・2通		0.5	○						
					がんチーム医療実習	1・2通		0.5			○				
					医療情報学（腫瘍学における情報システム）	1・2通		0.5	○						
			がん専門 共通科目	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通		1	○							
				臨床検査、病理、放射線診断学	2通		0.5	○							
				臓器別がん治療各論	2通		2	○							
				がん緩和治療	2通		0.5	○							
			がん専門 選択科目	放射線治療法	2通		1	○							
				臨床腫瘍学	2・3通		2	○	○						
				放射線腫瘍学	2・3通		2	○	○						
				小計（13科目）	—		0	13	0	—					
			課題研究						3・4通		8	0	0	○	○

(1) 共通科目 6 単位、専門科目 16 単位以上、課題研究 8 単位の計 30 単位以上とする。

(2) 専門科目は 16 単位以上のうち、主科目から 8 単位（主指導教員の開講する科目を 1 科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）、副科目（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。）から 4 単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から 4 単位以上を履修する。

## 香川大学大学院医学系研究科学位規則実施細則

### (目的)

第1条 この細則は、香川大学学位規則(以下「規則」という。)第26条の規定に基づき、香川大学大学院医学系研究科(以下「医学系研究科」という。)における修士及び博士の学位授与の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

### (申請資格等)

第2条 規則第4条の規定に基づき修士の学位授与を申請することのできる者は、医学系研究科に在学中で、香川大学大学院学則(以下「学則」という。)第43条に規定する単位を修得した者又は申請した日の属する学年末までに修得する見込みが確実な者とし、申請時期は第2年次の12月1日から医学系研究科教授会が指定する日までとする。ただし、優れた研究業績を上げた者については、第1年次の1月31日までとする。

2 規則第5条第1項の規定に基づき博士の学位授与を申請することのできる者は、医学系研究科に在学中で学則第44条に規定する単位を修得した者又は申請した日の属する学年末までに修得する見込みが確実な者とし、申請の時期は第4年次の10月1日から医学系研究科教授会が指定する日までとする。ただし、医学系研究科教授会において優れた研究業績を上げたと認められた者は、医学系研究科教授会専門委員会の指定した期間に学位授与を申請するものとする。

3 規則第5条第2項の規定に基づき学位論文を提出することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 博士課程に4年以上在学して所定の単位を修得した後退学した者
- (2) 医学部医学科又は歯学部等の6年制の大学を卒業した者で、基礎医学においては5年以上、臨床医学においては6年以上の研究歴を有するもの
- (3) 前号以外の4年制の大学を卒業した者で、基礎医学においては7年以上、臨床医学においては8年以上の研究歴を有するもの
- (4) その他、医学系研究科教授会が前3号と同等以上と認めた者

第3条 前条に規定する研究歴とは、次に掲げるものとする。

- (1) 大学の専任職員として医学又は歯学の研究に従事した期間
- (2) 大学院の医学研究科又は歯学研究科を退学した者の大学院に在学した期間
- (3) 大学の研究生及び専攻生等として医学又は歯学の研究に従事した期間
- (4) 医学系研究科教授会が前3号と同等以上と認める方法により研究に従事した期間

2 前項の研究に従事した期間のうち、香川大学医学部(以下「医学部」という。)以外に係るものについては、それぞれの研究歴に関する証明書を提出しなければならない。

### (学位論文)

第4条 規則第8条による修士又は博士の学位論文は、原則原著論文とする。また、共著による場合は筆頭著者に限るものとし、過去に学位授与の申請が行われなかったものであり、かつ将来も他の共著者から学位授与の申請が行われないものでなければならない。

2 規則第8条による博士の学位論文は、前項に定めるもののほか次の各号に掲げるものとする。

- (1) 課程博士又は論文博士を申請する学位論文は、いずれも英文とする。
- (2) 学位論文は、印刷公表したもの(オンラインによる公表を含む)又は、印刷公表したものでない場合は、学会誌等の掲載受理がなされた証明書等を添付するものとする。
- (3) 前号の学会誌等は、掲載につき厳格な審査制度を具備するものであることを要する。

### (審査委員会)

第5条 医学系研究科教授会は、当該学位論文の審査を行うため審査委員会を設置する。

- 2 前項の審査委員は、主査1人及び副主査2人とし、医学系研究科教授会の構成員の教授は、いずれかを担当するものとする。この場合において、副主査については、授業担当教員(博士課程は2人以内、修士課程は1人)を担当させることができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、医学系研究科教授会が必要と認めたときは、前項の審査委員のほかに当該構成員以外の本学の教員又は他の大学の大学院若しくは研究所等の教員を加えることができる。
- 4 審査委員会は、学位論文の審査のほか修士課程又は博士課程の学生については最終試験を、規則第5条第2項の規定によるものについては学力の確認を行う。

(資格審査)

第6条 規則第9条の審査に先立ち、規則第5条第2項に基づき学位論文を提出する者については研究歴等の申請資格の審査を行うものとする。

- 2 前項の資格審査は、医学系研究科教授会専門委員会が行う。

(外国語の試験)

第7条 規則第12条に基づく外国語(英語)の試験は、年2回行うものとし、学位論文提出者がいずれの時期に試験を受けるべきかは医学系研究科が指定する。

- 2 外国語試験の合格証明書には、有効期限は設けない。また、不合格者には、再度の受験の機会を与える。
- 3 医学部の専任の教職員若しくは医員として在職中の者、研究生として在学中の者又は外国人研究者として在籍中の者は、学位論文の提出前に外国語試験を受けることができるものとする。
- 4 独立行政法人日本学術振興会論文博士号取得希望者に対する支援事業による論博研究者は、学位論文の提出前に外国語試験を受けることができるものとする。

(修士論文発表会)

第8条 修士論文の内容については、公開の場で発表しなければならない。

- 2 修士論文の発表会は、2月に開催する。ただし、必要がある場合は、随時開催することができる。
- 3 修士論文の発表会の運営は、医学系研究科教授会専門委員会が行うものとする。

(公開の学位論文審査)

第9条 規則第5条第1項又は第2項の種別にかかわらず学位論文の審査は、公開とする。

- 2 公開の学位論文審査(以下「公開審査」という。)は、学位申請者ごとに実施日を決めて行う。
- 3 公開審査の進行は、当該学位論文の主査が担当する。
- 4 公開審査を受ける者は、1,000字程度の発表内容要旨を準備し、学会発表形式で発表する。
- 5 公開審査実施に際して、主査の指名する指定討論者を1人以上置くものとする。
- 6 指定討論者は、学内外の助教以上の教員または研究所等の研究者であり、審査する学位と同等以上の学位を有する者とする。

(学位授与の時期)

第10条 規則第4条及び規則第5条第1項に基づく修士及び博士の学位授与の時期は、原則として学位論文審査願を提出した年度末月の別に定める日とする。ただし、優れた研究業績を上げた者又は標準修業年限を超えて在学した者の修了の時期は、規則第15条第1項に定める学位授与決定後の6月、9月、12月又は3月の別に定める日とすることができる。

- 2 規則第5条第2項に基づく博士の学位授与の時期は、規則第15条第1項に規定する議決が行われた日とする。

(実施細目)

第 11 条 この細則に定めるもののほか、修士及び博士の学位授与の実施に関し必要な事項は、医学系研究科教授会が定めることができる。

附 則

この細則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 16 年 7 月 8 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この細則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の第 4 条第 2 項第 1 号の規定の適用については、次のとおりとする。

(1) 英文による博士課程の学位論文については、平成 20 年 4 月 1 日以後入学する者から適用する。

(2) 英文による論文博士に係る学位論文については、平成 23 年 4 月 1 日以後提出する者から適用する。

附 則

この細則は、平成 20 年 11 月 19 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 21 年 6 月 17 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 26 年 6 月 1 日から施行する。

# 看護学専攻 (修士課程)



# 大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）

## 目 次

1	組織構成	17
2	専門領域および授業科目の概要	17
3	履修方法等	18
4	学位の授与	19
5	2019年度 行事予定	20
6	2019年度授業科目および担当教員一覧表	21
7	2019年度授業時間割（初回授業日）	22
8	ディプロマ・ポリシー(DP)と水準・分野・DPコードについて	23
9	看護学専攻(修士課程)シラバスについて	24
10	修士論文の作成と提出	
1)	修士論文作成プロセス	25
2)	修士論文作成の要領	27
3)	提出書類・その他	30
4)	学位論文の製本表紙の作成要領	32
11	修士論文中間発表会実施要領	33
12	修士論文に係る医学部倫理委員会申請	33
13	学生生活支援について	34
14	規程等	
	香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)における入学前の既修得単位の認定に関する申合せ	36
	香川大学大学院医学系研究科(修士課程)長期履修学生取扱細則	38



## 医学系研究科看護学専攻（修士課程）教育理念

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としています。具体的には人々のQOL（Quality of Life）の向上を目指した科学的、実践的な課題解決ができる能力を有し、グローバルな視野で看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指します。

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、その教育理念に基づき、高い倫理観を基盤として、看護学に関する高度な専門的知識と研究能力を備え、その社会的責任を自覚して国内外の広範な看護実践及び看護教育に携わる高度専門職者を育成します。

本研究科を修了し、本学が送り出す修士（看護学）の身につけるべき能力・態度の到達基準は、次のとおりです。

### ①専門知識・理解

\*看護学に関する高度で実践的な専門知識と理論を理解・修得し活用できると共に、高度専門職者として幅広い知識と自らの専門性に立脚した見識を備えている。

### ②研究能力・応用力

\*看護現象について、科学的・論理的思考に基づき研究を計画及び遂行する能力と共に、その成果を発信し議論できる能力を備えている。

\*人々の健康に関連する諸課題の解決のため、研究や実践に基づいた専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に取り組むことができる。

### ③倫理観・社会的責任

\*看護専門職者として高い倫理観を持った上で、高度専門職者として自律的に行動の選択を行い、人々の健康な生活の実現に貢献する。その社会的責任を自覚し、自己の行動について根拠をもって説明できる能力を備えている。

### ④グローバルマインド

\*グローバルな視点で保健医療福祉及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を備えている。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を育成するために、3分野10専門領域において、専門的研究の基盤となる基盤科目（5科目10単位以上）、看護学の基礎的理論の知識を深める各専門領域特論（3科目6単位）、自己の研究課題及び研究方法の明確化のための各専門領域別演習（1科目4単位）と研究を遂行するための特別研究（10単位）から構成される教育課程を編成・実施します。また多角的な意見を踏まえた研究計画書が作成できるように中間発表会があります。修了要件は、上記30単位以上の修得と必要な研究指導を受けた修士論文の審査及び最終試験に合格することです。講義科目はシラバスに明示された多様な形式、研究科目は主及び副指導教員により、大学院生一人ひとりの研究テーマと研究時間に柔軟に対応して行われます。

ディプロマ・ポリシーの各項目の達成は、以下に示す体系的教育をもって実現します。

### ①専門知識・理解

第1・2年次に配置された基盤科目により、看護の理論を学習し、またその教育方法及び管理に関する専門知識を理解・修得します。さらに、臨床科学に関する知見を深めます。引き続き開講する各看護学特論により、看護専門職者として活躍するために必要な幅広い専門の知識を身に付けます。

### ②研究能力・応用力

第1年次前期の基盤科目の「看護研究方法論1及び2」により専門的研究実施の基礎的能力を修得します。後期には、専攻領域単位で行われる各専門領域別演習により自己の研究課題及びその研究方法の明確化を行い、研究計画書を作成します。多角的な意見を踏まえた研究計画書が作成できるように中間発表会で公開指導を受けます。さらに複数の教員の指導による「特別研究」において、自らの専門に関わる課題に対する研究を実施し、一定の結論を導き、これらを修士論文としてまとめることを通じて研究能力・専門応用能力を培います。

### ③倫理観・社会的責任

第1年次前期に開講される「看護倫理学」において、研究倫理、安全教育、情報リテラシー、知財など研究遂行にかかわる倫理だけでなく、看護専門職者として必要な看護倫理及び倫理的意思決定について系統的知識を身に付けます。さらに「看護管理学」において、看護専門職者として法的責任を理解するとともに社会的責任について自覚し、看護実践の質向上に貢献できる能力を培います。

#### ④グローバルマインド

第1年次前期に開講される「国際看護学特論」では、文化の異なる諸外国の看護、その教育、実践、医療福祉政策における看護の役割について修得します。国際的視野に立って世界の看護・保健・医療・福祉の現状を理解し、柔軟に対応できる能力を培います。また、開設される全ての授業科目で適宜、英語文献を講読し、グローバルな視点に立って課題を探求できるスキルを培います。

以上の学修成果の評価は、基本的に講義科目では修得した知識の理解度並びに説明能力により、研究科目では知識・専門的技術を応用して研究を計画・実施できる能力の総合評価により、厳格な成績評価（5段階評価、GPAの活用）で行います。また修士論文は、本研究科の定める学位審査基準に基づき、本研究科で選出された審査委員（主査1名、副主査2名以上）により厳格な審査及び公開での修士論文発表会を実施し、学位論文としての合否判定を行います。

# 大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)

## 1 組織構成

本学の大学院医学系研究科は、医学部医学科を基盤とした博士課程（医学専攻）と医学部看護学科を基盤とした修士課程（看護学専攻）が設置されています。

看護学専攻（修士課程）は、基礎教育課程での教育研究を基盤とし、大学全体で蓄積した教育研究資源と大学が立地する地域を活用した教育研究を基盤として、看護学の専門性を深めるために、3分野（基礎看護学、臨床看護学、地域看護学）を設置しています。

看護学専攻の分野及び専門領域

分 野	専 門 領 域
基礎看護学	看護医科学
	基礎看護学
臨床看護学	急性期成人看護学
	慢性期成人看護学
	小児看護学
	母性看護学
	老年看護学
地域看護学	精神看護学
	在宅看護学
	地域看護学

## 2 専門領域および授業科目の概要

### 1) 専門領域

#### 基礎看護学分野

看護医科学、基礎看護学の領域について教育を行います。最今、Evidence-based Nursing (EBN) が提唱され、看護の知識や技術に関する科学的な実証が不可欠となっています。基礎看護分野では EBN の実践に必要な知識や技術の習得を目指します。

#### (1) 看護医科学領域

看護医科学においては、看護や介護における医学的な疑問点を、科学的に探求し、その原因や解決法を見いだすための研究を行います。具体的にはアンケート調査や実験研究を中心と

した講義、演習、研究を行います。

#### (2) 基礎看護学領域

基礎看護学は、人間・環境・健康とのかかわりの中で看護を科学的に探究するとともに看護に関する問題を検証し、課題の明確化を行います。さらに、対象の安全性と安楽性を科学的に実証した看護技術の実践への活用方法をはじめ幅広く関心のある看護のテーマについて探求します。

#### 臨床看護学分野

急性期成人看護学、慢性期成人看護学、小児看護学、母性看護学及び老年看護学の領域について教育を行います。学部教育で得られた知識、技術及び深い倫理感を持って、さらに複雑な患者の状態、患者を取り巻く環境を客観的に分析、検討し、倫理と実践の関係を学習します。

#### (3) 急性期成人看護学領域

急性期成人看護学では健康危機の状況下におかれた対象者に適切な看護支援を提供するための基本となる知識・技術・態度について学びます。また、健康危機の状況下から回復過程にある対象者にはリハビリテーションを促進するための根拠に基づいた対象理解と看護実践を探求します。

#### (4) 慢性期成人看護学領域

慢性期成人看護学では、行動科学理論の基礎となる認知と行動の発達を学習し、成人の日常生活における人間らしさを科学的に理解します。また、慢性疾患療養過程の不確かさやその過程を軌跡としてとらえ、よりよい看護のあり方と方法を探求します。

これらのプロセスを通して、慢性期成人看護学領域の課題解決の方法と研究入門者としてのマナーや思考力を身につけられるよう支援します。

#### (5) 小児看護学領域

現代社会における小児と家族の問題について、医療、保健、福祉、教育などの側面から関連する学問分野の諸理論と看護への活用方法

を学びます。さらに小児保健、母子保健などの観点から小児看護を検討します。また、小児と家族に関する国内外の文献および研究論文をクリティークし、各自の研究課題を通して臨床での問題を解決し、看護実践の体系化、理論化を進め、研究能力と高度な臨床実践能力を養います。

#### (6) 母性看護学領域

女性の生涯を通じたリプロダクティブヘルス/ライツの視点から、生理的、心理・社会的な課題について、探求する能力を養います。具体的には、女性のライフサイクルにおける健康問題や臨床場面の問題について関連する理論を用いて分析し、自らの研究課題を明確にすることによって、女性とその家族の健康支援への貢献を目指して研究を進めていきます。

#### (7) 老年看護学領域

老年看護学の領域で看護実践において、対象自身の生活および生命の質が重要な問題となっています。対象の看護を行う上で必要な理論や実践について学習します。さらに、老年看護の対象が、疾患や障害の発症を人生の中の転機として捉え、それを自らの人生の中で意味づけ、全体的な存在として機能し、発達するための援助について探求します。

### 地域看護学分野

精神看護学、在宅看護学、地域看護学の領域について教育を行います。「病院完結型」から「地域完結型」医療への変化・対応が求められる昨今、住民の健康づくりや、病気と共存しながらQOLの維持・向上を目指し、住み慣れた地域や住まいでの生活を支える専門的知識を学修し、研究および実践のあり方を探求します。

#### (8) 精神看護学領域

精神の健康障害をもつ人への地域リハビリテーションや生活を支えるケア体制の充実が求められています。当事者を含む家族看護アプローチ、多職種連携によるケアシステムについて、既存理論の学修及び文献検討を通じて、各自のテーマを研究的に解決するための研究遂行力を養い、これからの時代を志向した精神看護

学を探究します。

#### (9) 在宅看護学領域

在宅看護学に関連する理論モデルを学習し、在宅で暮らしている人々がより良い健康を保ち、その人らしい生活を送ることができるよう支援する能力を養います。在宅看護に関する諸制度と在宅ケアシステムを理解し、多様な職種と共に在宅療養者を支援するために、効果的な看護を探求します。講義や演習を通して、在宅看護に関する研究課題を見出し、研究計画を立て、自身の研究課題に沿った研究過程を体験します。

#### (10) 地域看護学領域

地域で生活するあらゆる人々を対象とした公衆衛生看護活動を戦略的かつ効果的に展開できるよう、多様な理論を学修します。複雑・多様化する地域・住民の健康課題に対応するための新たな地域ケアシステムや評価のあり方を探求し、科学的根拠に基づく施策化、政策提言を行う能力を養います。各自の研究課題を通して公衆衛生看護における倫理観を高めると共に、思考プロセスの明確化を図ります。

## 2) 基盤科目

本学の目指す高度職業実践者として必要なケア実践能力、管理的能力及び看護を提供する場を改革するための研究方法に関する能力を修得するために、基盤科目として、理論看護学、看護倫理学、看護研究方法論1、看護研究方法論2、看護教育学、看護管理学、臨床科学、国際看護学特論、養護教育特論の9科目を開設しています。

各分野の授業科目と併せて学習することにより、効果的な教育が期待できます。

## 3 履修方法等

### 1) 修業年限

修業年限は、2年を基準とします。

### 2) 修了要件

次の区分により30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- i) 基盤科目5科目10単位以上
- ii) 専門科目のうち同一領域の特論・演習6単位
- iii) 専門科目のうちii)の科目以外の特論を2科目4単位
- iv) 研究科目10単位
- v) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

### 3) 単位修得評価

成績評価は、次の基準で行います。

- 秀 : 90点以上
- 優 : 80点以上
- 良 : 70点以上
- 可 : 60点以上
- 不可 : 60点未満

- 4) 香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)における入学以前既修得単位認定について

入学前既修得単位の認定に関しては、別途定めます(「学則・規程」)。

### 4 学位の授与

学位は、修士(看護学)とします。修士の学位は、大学院(修士課程)に2年以上在籍し、授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を1年以上とすることがあります。

## 5. 2019年度行事予定

	月 日(曜日)	行事予定	対 象 者
前期	4月3日(水)	入学式	
	6月3日(月)～7日(金)	学位論文題目届受付(学務課へ)#	9月修了生
	7月1日(月)～5日(金)	一次審査論文提出(正午12:00学務課へ)	9月修了生
	7月8日(月)～16日(火)	一次論文審査期間	9月修了生
	8月6日(火)夕方	修士論文発表会準備	9月修了生
	8月7日(水)	修士論文発表会	9月修了生
	8月9日(金)	予備日(修士論文発表会)	9月修了生
	8月19日(月)	最終審査論文提出(主査へ)	9月修了生
	8月19日(月)～23日(金)	中間発表会題目届受付#	9月修了生
	8月20日(火)～23日(金)	最終論文審査期間	
	8月22日(木)	大学院入試(前期日程)	
	8月29日(木)	学位論文提出(正午12:00学務課へ)	9月修了生
	9月3日(火)	*修士論文中間発表会	
	9月末	学位授与・修了式	9月修了生
後期	11月11日(月)～15日(金)	学位論文題目届受付#	3月修了生
	12月9日(月)～20日(金)	一次審査論文提出(正午12:00学務課へ)	3月修了生
	1月6日(月)～10日(金)	一次審査論文審査期間	3月修了生
	1月27日(月)～30日(木)	中間発表会題目届受付#	3月修了生
	1月28日(火)	修士論文発表会準備	3月修了生
	1月29日(水)	修士論文発表会	
	1月31日(金)	予備日(修士論文発表会)	3月修了生
	2月4日(火)	最終審査論文提出(主査へ)	3月修了生
	2月6日(木)～12日(水)	最終論文審査期間	3月修了生
	2月13日(木)	*大学院入試(後期日程)	
	2月14日(金)	*修士論文中間発表会	
	2月20日(木)	学位論文提出(正午12:00学務課へ)	3月修了生
	3月24日(火)	学位授与・修了式	3月修了生

\* 変更の可能性あり

#学務課対応時間17:00まで

## 6 2019年度授業科目および担当教員一覧表

科目領域	授業科目	履修年次	単位	担当教員
基盤科目	理論看護学*	1・2	2	前川 泰子、南 妙子、金正 貴美
	看護倫理学*	1・2	2	大森美津子、辻 京子、松本 啓子、峠 哲男
	看護研究方法論 1*	1・2	2	谷本 公重、大森美津子、石上 悦子
	看護研究方法論 2*	1・2	2	市原 多香子、森永 裕美子、真鍋 芳樹
	看護教育学	1・2	2	清水 裕子、渡邊 久美
	看護管理学	1・2	2	佐々木 睦子、前川 泰子
	臨床科学	1・2	2	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
	国際看護学特論	1・2	2	2019年度休講
	養護教育特論	1・2	2	前川 泰子、佐々木 睦子
専門科目	看護医科学特論	1	2	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
	基礎看護学特論	1	2	前川 泰子、南 妙子
	急性期成人看護学特論	1	2	市原 多香子
	慢性期成人看護学特論	1	2	清水 裕子
	小児看護学特論	1	2	谷本 公重
	母性看護学特論	1	2	佐々木 睦子、石上 悦子
	老年看護学特論	1	2	大森 美津子
	精神看護学特論	1	2	渡邊 久美
	在宅看護学特論	1	2	松本 啓子
	地域看護学特論	1	2	森永 裕美子、辻 京子
	看護医科学演習	1	4	峠 哲男、藤井 豊、筒井 邦彦
	基礎看護学演習	1	4	前川 泰子、南 妙子
	急性期成人看護学演習	1	4	市原 多香子
	慢性期成人看護学演習	1	4	清水 裕子
	小児看護学演習	1	4	谷本 公重
	母性看護学演習	1	4	佐々木 睦子、石上 悦子
	老年看護学演習	1	4	大森 美津子
	精神看護学演習	1	4	渡邊 久美
	在宅看護学演習	1	4	松本 啓子
	地域看護学演習	1	4	森永 裕美子、辻 京子
研究科目	特別研究	2	10	各指導教員

\* 受講推奨科目

## 履修方法

- 1) 基盤科目 5科目 10単位以上
- 2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6単位
- 3) 専門科目のうち、上記2)の科目以外の特論を2科目 4単位
- 4) 研究科目 10単位
- 5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は、養護教育特論を必修科目とする



## 7 2019年度授業時間割(初回授業日)

専攻	科目領域	授業科目	時間割(初回授業日)
看護学専攻	基盤科目	理論看護学*	水・金曜日 6・7 限目, 土曜日 (4/24 : 6 限目)
		看護倫理学*	基本木曜日 6・7 限目(4/19: 6 限目)
		看護研究方法論 1*	火曜日 6・7 限目(4/11 : 6 限目)
		看護研究方法論 2*	火曜日 6・7 限目(5/21 : 6 限目)
		看護教育学	月曜日 6・7 限目(4/15 : 6 限目)
		看護管理学	集中講義 (9/5 : 6 限目)
		臨床科学	基本土・日曜日 (4/9 : 7 限目)
		国際看護学特論	2019年度休講
		養護教育特論	未定
	専門科目	看護医科学特論	木曜日(隔週)6・7 限目 (6/27 : 6 限目)
		基礎看護学特論	(5/15 : 6 限目)
		急性期成人看護学特論	(7/2 : 6 限目)
		慢性期成人看護学特論	(7/2 : 7 限目)
		小児看護学特論	(7/4 : 6 限目)
		母性看護学特論	(7/5 : 6 限目)
		老年看護学特論	(8/20 : 6・7 限目)
		精神看護学特論	(7/10 : 6・7 限目)
		在宅看護学特論	担当教員に連絡し調整
		地域看護学特論	(7/9 : 6 限目)

在宅看護学特論については、担当教員連絡し、調整してください。

履修者数や社会人学生の勤務の都合により2回目以降の予定は変更の可能性があります。

履修希望の初回授業には必ず参加して、2回目以降の授業予定を教員と相談してください。

看護管理学 集中講義 初回 9/5 6 限目～

養護教育特論 未定

国際看護学特論 休講

## 8. ディプロマ・ポリシー (DP) と水準・分野・DPコードについて

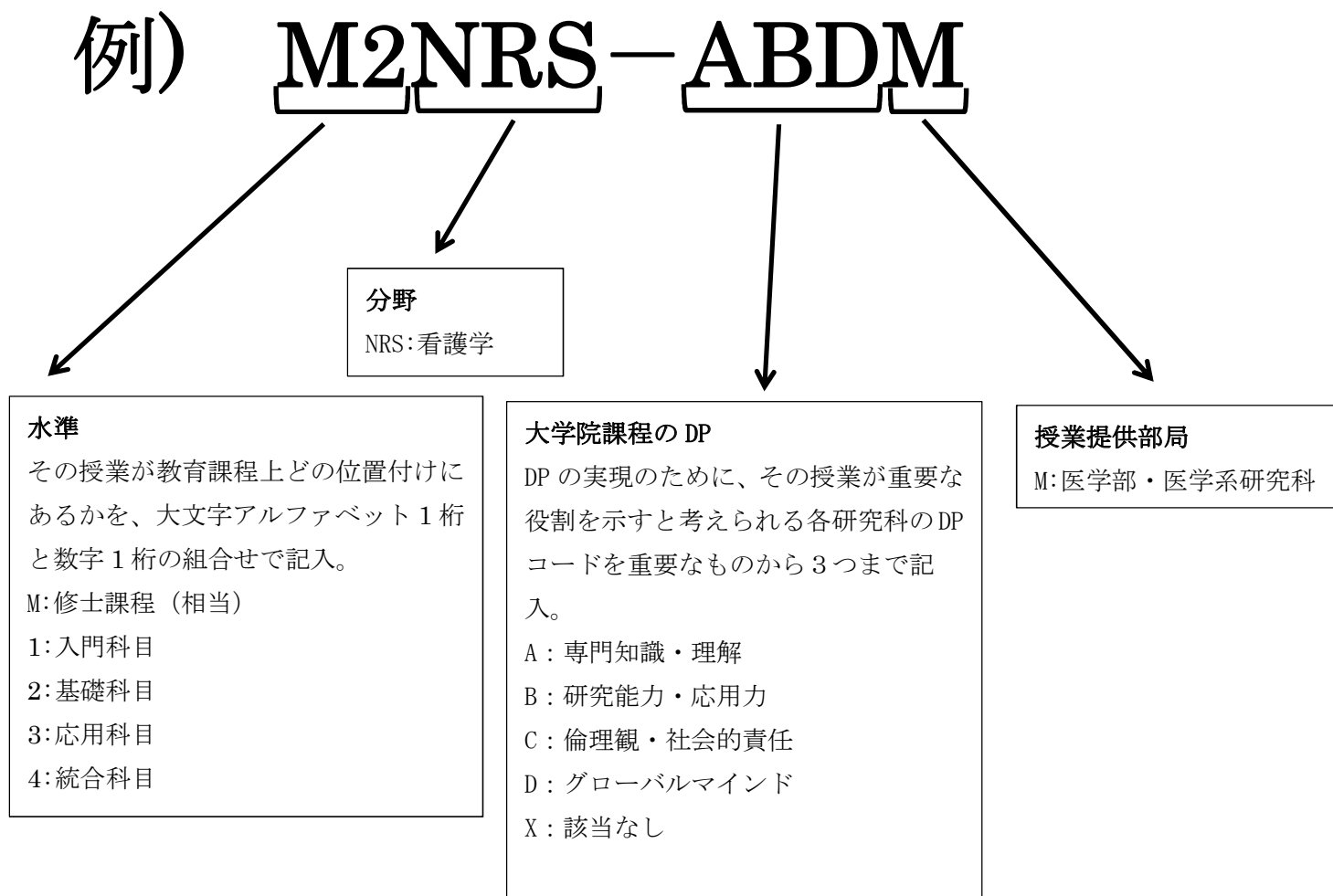
ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことです。本学では、どのような内容の授業を、誰が誰に、どのように提供しているか、という観点からナンバリングを行っており、8要素14桁から構成されるコードで示しています。

このナンバリングコードはシラバスの左上に示されています(シラバスの記載例を参照)。4つに区分されていますが、前から順に「水準・分野」、「ディプロマ・ポリシー (DP と表記されます)」、「提供部局」、「対象学生・特定プログラムとの対応」、「授業形態・単位数」を表しています。なお、シラバスの右上には、それぞれ別個に示していますので、そちらを参照することもできます。

ディプロマ・ポリシー(DP)とは、教育理念に基づき、どのような力を身に付けたものに修了を認定し、学位を授与するのかを定めた基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるものです。

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 看護専門領域において高度で実践的な専門的知識および理論を活用できる能力 | (DPコード:A) |
| 2. 看護現象について科学的思考を用いて課題解決するための研究能力      | (DPコード:B) |
| 3. 高い倫理的感受性を持った上で解決困難な看護現象を解明できる能力     | (DPコード:C) |
| 4. グローバルな視点で保健医療福祉及び社会の変化に柔軟に対応できる能力   | (DPコード:D) |

DPコードは、その授業が実現に寄与するDP項目を示すアルファベット(3文字)と提供部局を示すアルファベット(1文字)で構成されます。



## 9. 看護学専攻（修士課程）シラバスについて

### 【香川大学シラバス検索画面】

香川大学ホームページからアクセスしてください。

ホーム＞学生生活・就職＞授業、履修＞シラバス

シラバス URL

<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/about-class/syllabus/>

シラバス QR コード



## 10 修士論文の作成と提出

### 1) 修士論文作成プロセス 3月修了予定者

#### (1) 学位論文題目届受付

学位論文題目届受付期間中17時までの間に、学位論文題目届（様式501）を学務課大学院担当に提出する。

#### (2) 一次審査論文受付

一次審査論文受付期間中、最終正午12時までの間に、以下を添えて学務課大学院担当に提出する。

- ・学位論文審査願（様式502） 1部
- ・学位論文（審査用最終論文表紙をつける）（様式506） 3部
- ・学位論文の内容の要旨（様式503） 4部
- ・論文目録（様式504） 4部

（参考文献は修士論文作成に参考にした修士生自身による論文がある場合に記入、ない場合は参考文献なしと記入）

- ・履歴書（様式505） 4部

#### (3) 一次論文審査期間

指定期間中に主査、副主査により3月修了候補者出席のもと実施する。

#### (4) 修士論文発表会

発表会用資料はA3用紙3枚以内とする。

発表はPower Point(パワーポイント)を使用可とする。

予備日あり

#### (5) 修正した修士論文に様式506を付けて、指定期限までに主査に3部提出する。

\*この時、学位論文表紙（様式507）1枚を併せて提出する。

\*論文題目に変更がある場合は、学位論文題目変更届（様式）を提出する。

#### (6) 最終論文審査期間

指定期間中に主査、副主査により実施する。

#### (7) 学位論文提出

最終論文審査終了後、主査からの審査報告に基づき作成された学位論文を受付期間の最終正午12時までに学務課大学院担当に2部提出する。

\*この時、コピーした学位論文表紙（様式507）をつける。

\*大学院担当に2部提出されたうちの1部を、大学院担当から主査に送付する。

#### (8) 学位授与決定（3月中旬の医学系研究科教授会）

#### (9) 学位授与 学位記授与式（幸町キャンパス）

#### (10) 製本された報告用学位論文(最終論文表紙原本をつけたもの)を学位授与式前日までに、1

部、学務課大学院担当に提出する。この時、学位論文提出期間までに提出された論文と引き換える。

## 9月修了予定者

### (1) 学位論文題目届受付

学位論文題目届受付期間中17時までの間に、学位論文題目届（様式501）を学務課大学院担当に提出する。

### (2) 一次審査論文受付

一次審査論文受付期間中、最終正午12時までの間に、以下を添えて学務課大学院担当に提出する。

- ・学位論文審査願（様式502） 1部
  - ・学位論文（審査用最終論文表紙をつける）（様式506） 3部
  - ・学位論文の内容の要旨（様式503） 4部
  - ・論文目録（様式504） 4部
- （参考文献は修士論文作成に参考にした修士生自身による論文がある場合に記入）
- ・履歴書（様式505） 4部

### (3) 一次論文審査

指定期間中に主査、副主査により9月修了候補者出席のもと実施する。

### (4) 修士論文発表会

発表会用資料はA3用紙3枚以内とする。

発表はPower Point（パワーポイント）を使用可とする。

予備日あり

### (5) 修正した修士論文に様式506を付けて、指定期限までに主査に3部提出する。

\*この時、学位論文表紙（様式507）1枚を併せて提出する。

\*論文題目に変更がある場合は、学位論文題目変更届（様式）を提出する。

### (6) 最終審査期間

指定期間中に主査、副主査により実施する。

### (7) 学位論文提出

最終論文審査終了後、主査からの審査報告に基づき作成された学位論文を受付期間の最終正午12時までに学務課大学院担当に2部提出する。

\*この時、コピーした学位論文表紙（様式507）をつける。

\*2部の配布先は、主査と学務課に各1部

### (8) 学位授与決定（9月中旬の医学系研究科教授会）

### (9) 学位授与

9月下旬 学位記授与式（医学部キャンパス）

### (10) 製本された報告用学位論文(学位論文表紙原本をつけたもの)を学位授与式前日までに1部、学務課に提出する。この時、学位論文提出期間までに提出された論文と引き換える。

## 2) 修士論文作成の要領

- (1) 原稿は、PCを用いて作成する。
- (2) 原稿は、新仮名づかいを用い、原則として常用漢字とする。句読点は、「，．」を用いる。
- (3) 単位は、原則として国際単位系（SI）とする。特殊な単位を用いるときは、簡単な説明を加える。
- (4) 外国の固有名詞（人名、地名など）は、原語のまま、またはカタカナ表記とする。
- (5) 略語は、論文にしばしば繰り返される語について差し支えないが、初出の時には、完全な用語を用い、その後略語を用いることを明記する。
- (6) 論文には、内容が理解できるように1200字程度の要旨をつけ、3～5個のキーワードをつける。
- (7) 論文の構成は、原則として次のようにする。項目分けは、Ⅰ、1、1）、(1)、①の区分とする。

### 【論文構成】

表紙 …… 様式506、507用紙使用

要旨、キーワード

目次

Ⅰ. 序論（ページ1、2、3・・・を入れる）

Ⅱ. 文献レビュー

Ⅲ. 目的

Ⅳ. 方法

Ⅴ. 結果

Ⅵ. 考察

Ⅶ. 提言

Ⅷ. 研究の限界

Ⅸ. 結論

謝辞

引用文献

図表 （ページ1、2、3・・・を入れる）

資料 （調査用紙、その他）（ページ1、2、3・・・を入れる）

- (8) 図表は、図の下に図1、表の上に表1などの番号をつける。
- (9) 文献は、本文の引用箇所の型に<sup>1)</sup>、<sup>1、2)</sup><sup>1-4)</sup>など番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する、文献の著者が3名までは全員、4名以上の場合、最初の3名を記し、それ以上は「，他」または「，et al.」とする。欧文原稿の場合はすべて半角文字を

使用し、雑誌名および書籍名をイタリックで表示する（注意：和文の場合は斜字体にしない）。

雑誌などの略語については、和文誌は医学中央雑誌に、英文誌はINDEX MEDICUSおよびINTERNATIONAL NURSING INDEXに従って記載する。

## 【文献の記載例】

### ① 雑誌の場合

著者名（西暦発行年）：表題，雑誌名，巻(号)，開始頁-終了頁.

例：香川太郎，讃岐花子，宇鈍美子，他（2017）：看護研究の文献リストに必要な情報，香川大学看護学雑誌，20（1），20-30.

（注意：和文の場合、カッコ「（）」、カンマ「，」およびピリオド「.」ハイフン「-」等は全角）

Kagawa, T., Sanuki, H., Udon, Y., et al. (2017): How to write a reference list for nursing articles. *Nursing Journal of Kagawa University*, 20 (1), 20-30.

### ② 書籍の場合

著者名（西暦発行年）：書籍名（版数），出版社名，発行地.

例：香川太郎（2017）：看護研究の文献リストに必要な情報（第2版），香川大学出版会，香川.

Kagawa, T. (2017): *How to write a reference list for nursing articles* (2nd ed.), Kagawa University Press, Kagawa.

（注意：出版社名は最も簡潔な形式で示し、「株式会社」や「一般社団法人」などは省く。以下同様。）

### ③ 翻訳書の場合

原著者名（原著発行年）／訳者名（翻訳書発行年）：翻訳書名（版数），出版社名，発行地.

例：Smith, K. U., & Johnson, D. I. (2010) / 香川太郎，讃岐花子訳（2017）：看護研究文献リストをどう書くか，香川大学出版会，香川.

（注意：書籍が初版のみの場合は版数を記載しない。以下同様。）

### ④ 分担執筆の文献で著者と書籍に編者（監修者）が存在する場合

著者名（西暦発行年）：表題，編集者名，書籍名（版数），引用箇所を開始頁-終了頁，出版社名，発行地.

例：宇鈍美子（2005）：文献リストの書き方，香川太郎，讃岐花子編，看護研究（第7版），123-146，香川大学出版会，香川.

Udon, Y. (2005): How to write a reference list, Kagawa, T. & Sanuki, H. (Eds.), *Nursing Research* (7th ed.), 123-146, Kagawa University Press, Kagawa.

## ⑤ 電子文献の場合

## ・DOIがある学術論文

著者名（出版年）：論文名，誌名，巻（号），開始頁-終了頁，doi: xx,xxxxxx（参照年月日）

Kagawa, T., Sanuki, H., Udon, Y. (2017): How to write a reference list for nursing articles, *Nursing Journal of Kagawa University*, 20 (1), 20-30. doi: xx,xxxxxx

（注意：doi [Digital Object Identifier デジタルオブジェクト識別子] 番号の後にはピリオドはつけない。）

## ・DOIのない学術論文

著者名（出版年）：論文名，誌名，巻（号），開始頁-終了頁，<http://www.xxxxxxx>（参照年月日）

Kagawa, T., Sanuki, H., Udon, Y. (2017): How to write a reference list for nursing articles, *Nursing Journal of Kagawa University*, 20 (1), 20-30, <http://www.xxxxxxx>（参照2017年5月5日）

（注意：URLの後にはピリオドはつけない。また、ハイパーリンクは削除する。以下同様。）

## ⑥ Webサイト、Webページ

著者名（投稿・掲載の年月日）：Webサイトの名称，<http://www.xxxxxxx>（参照年月日）

例：厚生労働省：平成26年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況について，[http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/dl/info03\\_h26\\_00.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/dl/info03_h26_00.pdf)（参照2017年2月2日）

## (10) 論文の書式は、以下のとおりとする。

- ① A4版紙縦書きとし、左35mm、右20mm、上30mm、下30mmの余白をとり、横書きで作成する。
- ② 本文の字体は、和文は明朝体11ポイント、英文はTimes New Romanを標準とし、35字×36行で打ち出す。
- ③ 論文は、表紙、要旨、目次、本文、付録（図表、資料）の順に添付し、製本する。  
なお、図表および資料については、本文の最後に各々一括して編集し、添付する。
- ④ 本文（序論から引用した文献まで）の頁（ページ）の記載については、序論から引用文献の最後頁まで、-1- -2- -n- のようにつける。
- ⑤ 資料（図表・同意書・依頼書・調査用紙）には、本文と区別し、-1- -2- -n- の頁番号をつける。それらの記入場所は、下中央とする。



### 3) 提出書類・その他

用紙は医学部ホームページ（医学系研究科）よりダウンロードし、以下の様式に沿って各自作成する。

(様式 501)

<b>学位論文題目届</b>	
平成 年 月 日	
医学系研究科長 殿	指導教員承認印 <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>
看護学 専攻 _____ 分野	
学籍番号 _____	
ふりがな _____ 氏名 _____ 氏名 _____	
下記のとおり学位論文題目をお届けします。	
記	
学位 論文 題目	

(様式 502)

平成 年 月 日	
香川大学長 殿	
看護学専攻 _____ 分野	
学籍番号 _____	
氏 名 _____ 氏名 _____	
<b>学位論文審査願</b>	
香川大学学位規則第7条第1項の規定に基づき、下記の書類を提出いたしますので御審査願います。	
記	
1 学位論文	3 部
2 学位論文の内容の要旨	4 部
3 論文目録	4 部
4 履 歴 書	4 部
備考 1 学位論文は、表紙を付けたものを3部提出すること。 2 参考論文がある場合は、各3部添付すること。 3 論文目録及び履歴書は、それぞれ原本1部及び写し3部を提出すること。	

(様式 503)

*			
整理番号	香大医修 第	号	
<b>学位論文の内容の要旨</b>			
専 攻	看 護 学	分 野	氏 名
学籍番号			
論文題目			
(論文要旨)			
(備考) 論文要旨は、日本語で800字以内にまとめてください。			

(様式 504)

報告番号	香大医修 第	号	
<b>論 文 目 録</b>			
専 攻	分 野	氏 名	
学籍番号			
学位論文			
1 題 目			
「○○○○・……………」			
2 参考文献			
参考論文 1			
題目「○○○○・……………」			
参考論文 2			
題目「○○○○・……………」			
平成 年 月 日			
学位申請者 氏名 _____ 氏名 _____			
(注) 1 論文題目が外国語の場合、日本語訳を括弧書きで付記してください。 2 4部（原本1部、写し3部を含む。）提出してください。 3 学位申請者氏名は必ず自署してください。			

(様式 505)

整理番号	香大医修 第	号		
<b>履 歴 書</b>				
(ふりがな) 氏 名 生年月日	や し ま は な こ 屋 島 花 子 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生	男・女		
現 住 所	香川県木田郡三木町池戸1750-1	本 籍	香 川 都 道	香 川 府 県
<p style="text-align: center;">学 歴</p> <p>昭和〇〇年〇〇月〇〇日    〇〇高等学校卒業          昭和〇〇年〇〇月〇〇日    〇〇大学〇〇学部卒業          昭和〇〇年〇〇月〇〇日    〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程入学</p> <p style="text-align: center;">職歴及び研究歴</p> <p>昭和〇〇年〇〇月〇〇日    香川大学医学部附属病院看護部看護師に採用</p> <p style="text-align: center;">上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">平成〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: center;">氏名 _____ 印</p>				
<p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 年月日は、申請日（論文提出日）としてください。</li> <li>2 学歴は高等学校卒業以降、年次を追って記載してください。</li> <li>3 職歴及び研究歴は、一つにまとめて記載してください。</li> <li>4 学位論文提出時には4部（写し3部を含む。）提出してください。</li> <li>5 学位申請者氏名は必ず自署してください。</li> </ol>				

(様式 506) 審査用最終論文表紙

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文

**題 目 (20P)**

〔 和 文 〕  
〔 英 文 〕

学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 15P

指導教員承認印

審査用論文の表紙として使用する  
 上余白 30mm 下余白 30mm  
 左余白 35mm 右余白 26mm

(様式 507) 学位論文表紙

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文

**題 目 (20P)**

〔 和 文 〕  
〔 英 文 〕

学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 15P

審 査	主 査	副 査	副 査
承認印			

(様式) 学位論文題目変更届

平成 年 月 日

指導教員承認印

医学系研究科長 殿

看護学 専攻 \_\_\_\_\_ 分野

学籍番号 \_\_\_\_\_

ふりがな \_\_\_\_\_ 印

氏 名 \_\_\_\_\_

学位論文題目変更届

学位論文審査の結果、学位論文題目に変更が生じました。  
 つきましては、下記のとおり題目を変更したいので、お届けいたします。

記

【変更前】

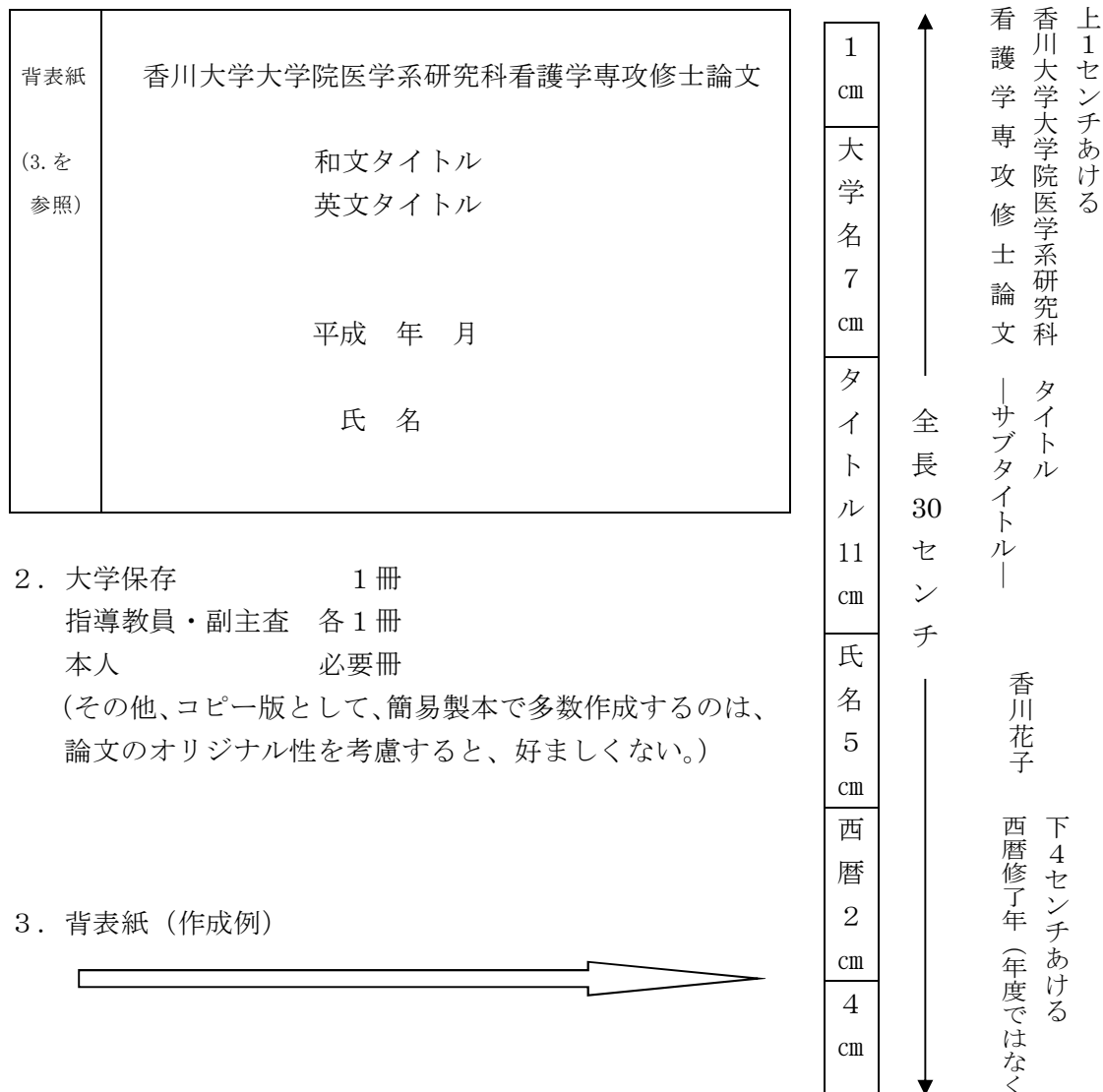
  
  
  

【変更後】

審査用論文の表紙にはコピーを使用し、  
 本紙は製本提出用を使用する。  
 上余白 30mm 下余白 30mm  
 左余白 35mm 右余白 26mm

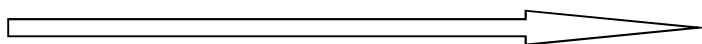
#### 4) 学位論文の製本表紙の作成要領

1. 製本用の修士論文の表紙は黒色系のカバーを用い、表紙と背表紙に課題名、年及び氏名を金文字で印刷すること。



2. 大学保存 1冊  
 指導教員・副主査 各1冊  
 本人 必要冊  
 (その他、コピー版として、簡易製本で多数作成するのは、論文のオリジナル性を考慮すると、好ましくない。)

#### 3. 背表紙 (作成例)



4. どこで製本しても良いが、体裁は、出来るだけ統一することが望ましい。
5. 経費は自費とする。
6. 提出日・提出場所

大学保存版は3月修了者・9月修了者ともに、学位授与式前日までに、医学部学務課大学院担当に提出する。この時に、簡易製本の冊子と差し替える。製本された学位論文は、図書館医学部分館に保存される。

## 1 1 修士論文中間発表会実施要領

### 1) 中間発表会発表題目届

指定された期間内に発表題目届（様式501）を医学部ホームページ（医学系研究科）よりダウンロードして学務課大学院担当に提出する。

### 2) 修士論文中間発表会

#### (1) 発表資料作成

中間発表会抄録フォーマット（指定様式）およびパワーポイントフォーマット（指定様式）を医学部ホームページ（医学系研究科）よりダウンロードして、前日までに作成する。

#### (2) 日程

あらかじめ指定された日に開催されるが、発表者数により変更の可能性がある。掲示板およびメール等の連絡に注意すること。

発表会前日夕方に、発表会オリエンテーションを行う。

## 1 2 修士論文に係る医学部倫理委員会申請

香川大学大学院医学系研究科（看護学専攻）修士課程では、院生の研究課題に関して、年2回開催される「中間発表会」において公開指導を受けること、加えて、医学部倫理委員会に倫理審査申請をおこない、承認を得ることを指導している。計画的に研究を実施すること。

## 13 学生生活支援について

### 1 入学料の免除

入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、また本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合などの特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められた者については、願い出により選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがある。

なお、前述及び経済的理由により納付期限（入学手続期間）までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者については、願い出により選考の上、入学料を指定された期日まで徴収を猶予することがある。

### 2 授業料免除

学業優秀と認められる者で、上記と同様な理由により、授業料を所定の期日までに納入することが困難な者は、願い出により選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除することがある。

### 3 独立行政法人日本学生支援機構（育英奨学事業）

人物、学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、日本学生支援機構奨学規程に基づいて、次の奨学金が貸与される。

種 別	貸与月額
第一種奨学金（無利子）	50,000 円又は 88,000 円
第二種奨学金（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の5種類から選択

### 4 学生教育研究災害傷害保険制度

大学に学ぶ学生が被る種々の正課中及び課外活動中及び通学中の災害に対する被害救済の措置を目的とした制度。正課中及び課外活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故や、住居と学校施設等との間の通学、学校施設間相互の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる。

本学では、この保険制度を採用し、入学者全員加入とし、各自で保険加入手続きを行うよう指導している。

### 5 学研災付帯学生生活総合保険

上記4の保険と同時に加入手続きを行ってもらい、在学中に偶発的な事故及び臨床実習中における他人への賠償責任事故・針刺し事故等感染事故を補償する制度。医学系研究科ではこの保険に加入することを勧めている。

### 6 健康管理

学生、教職員の保健管理業務を専門的に取り扱うことを目的として、専任の医師、保健師、臨床心理士の在籍する保健管理センター医学部分室を設置している。定期健康診断の他に、心身の健康や精神面の相談対応を行っている。具体的には、定期健康診断後の証明書発行や、

簡単な応急処置・急病対応、カウンセラーによる相談を行っている。

## 7 学生生活相談

学務課（管理棟1階）の窓口において、修学上の問題、学内の施設案内等、どんな小さなことでも相談にのりますので、一人で思い悩むことなく、気軽に相談してください。

## 8 特別待遇学生（特待生）制度

学業成績、人物共に特に優れた者に授業料免除を与える制度がある。

## 9 学会発表助成

国内及び海外における研究発表を行う場合の旅費の補助がある。

## 10 長期履修制度

職業を有している等の事情による者は、申し出により審査を行い認可された場合、3年を修業年限とする長期履修制度がある。

## 11 教育訓練給付制度指定

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）または一般被保険者であった者（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%（支給要件期間が3年以上の者。ただし、初回に限り、1年以上の者。）に相当する額（上限10万円）をハローワーク（公共職業安定所）から支給する。

## 12 注意

連絡事項は看護学科教育研究棟1階の大学院生用掲示板で行う。

## 14 規程等

- ・香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)における入学前の既修得単位の認定に関する申合せ…………… 37
- ・香川大学大学院医学系研究科(修士課程)長期履修学生取扱細則… 38

注意 ) 最新の規程は、香川大学のホームページで確認してください。

香川大学ホームページ > 情報公開 > 規則等

医学部公式サイト > 医学部内向け > 規程集 > 医学部規程集検索

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)における  
入学前の既修得単位の認定に関する申合せ

- 1 この申合せは、香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)において入学前の既修得単位の認定を行うため、香川大学大学院学則第42条及び香川大学大学院入学前の既修得単位の認定に関する規則に定めるもののほか、必要な事項を定める。
- 2 学生が、本学大学院に入学する前に本学又は他の大学(外国の大学を含む。)の大学院において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学大学院において修得したものとして認定できる授業科目及び単位数は、次のとおりとする。
  - (1) 主専攻の分野について、特論に限り1授業科目2単位以内
  - (2) 主専攻以外の分野(共通科目を除く。)について、特論に限り2授業科目4単位以内
  - (3) 共通科目の分野について、2授業科目4単位以内
- 3 認定した授業科目の成績は、「認定」の標語をもって表す。
- 4 既修得単位の認定を理由として、標準修業年数の短縮は行わないものとする。

附 則

この申合せは、平成16年4月1日から施行する。



## 香川大学大学院医学系研究科（修士課程）長期履修学生取扱細則

### （趣旨）

第1条 この細則は、香川大学大学院学則第34条の規定に基づき、医学系研究科修士課程における長期履修学生の取扱いに関し必要な事項を定める。

### （対象学生）

第2条 長期履修学生の対象となる学生は、職業を有している等の事情による者で、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する者とする。

### （長期履修の期間等）

第3条 長期履修学生の履修の期間は、3年を限度とし、1年を単位として認める。

2 長期履修学生の1年間に履修登録できる授業の単位数は、20単位を限度とする。ただし、修士課程の修了要件とならない授業科目の単位については、これに含めない。

### （申請手続）

第4条 長期履修学生となることを希望する者は、入学前年度の1月末日又は1年次の1月末日までに、長期履修学生申請書（別紙様式第1号）、在職証明書（様式は自由で在職が確認できる書類）等を研究科長に提出する。

### （認定の通知）

第5条 医学系研究科は、長期履修の申請に基づき審査の上、長期履修の可否について申請者に対して3月末日までに文書により通知する。

### （授業料）

第6条 長期履修学生の授業料の年額は、香川大学大学院学則第57条の定めるところによる。

### （長期履修期間の変更）

第7条 長期履修学生で認定された履修期間について、特別な理由により短縮を希望する学生は、1月末日までに、長期履修期間変更願（別紙様式第2号）を研究科長に提出しなければならない。

### 附 則

この細則は、平成19年6月20日から施行する。

### 附 則

この細則は、平成20年10月15日から施行する。

平成 年 月 日

香川大学大学院医学系研究科長 殿

申請者

受験(学籍)番号

氏名

印

保証人氏名

印

私は、大学院医学系研究科修士課程において下記のとおり長期履修学生を申請します。

**長期履修学生申請書**

ふりがな		男・女	指導教員
氏名			印
生年月日	年 月 日		
現住所	〒 TEL( - )		
勤務先 (職種)			
勤務先所在地	〒 TEL( - )		
修学予定年数	年 (修了予定 平成 年 月)		
長期履修希望理由			

平成 年 月 日

香川大学大学院医学系研究科長 殿

申請者

学籍番号

氏名

印

保証人氏名

印

私は、大学院医学系研究科修士課程で現在認定されている長期履修期間の変更を、下記のとおり申請します。

**長期履修期間変更願**

ふりがな		男・女	指導教員
氏名			印
生年月日	年 月 日		
現住所	〒 TEL( - )		
勤務先 (職種)			
勤務先所在地	〒 TEL( - )		
変更願履修期間	年 (修了予定 平成 年 月)		
現認定履修期間	年 (修了予定 平成 年 月)		
履修期間変更理由			

領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者		
月日	時間帯	科目名	理学	看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論(休講)	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論		
			4月1日(月)	18:30-20:00																				
4月1日(月)	20:10-21:40																							
4月2日(火)	18:30-20:00																							
4月2日(火)	20:10-21:40																							
4月3日(水)	18:30-20:00																							
4月3日(水)	20:10-21:40																							
4月4日(木)	18:30-20:00																							
4月4日(木)	20:10-21:40																							
4月5日(金)	18:30-20:00																							
4月5日(金)	20:10-21:40																							
4月6日(土)	9:00-10:30																							
4月6日(土)	10:40-12:10																							
4月6日(土)	13:00-14:30																							
4月6日(土)	14:40-16:10																							
4月6日(土)	16:20-17:50																							
4月7日(日)	9:00-10:30																							
4月7日(日)	10:40-12:10																							
4月7日(日)	13:00-14:30																							
4月7日(日)	14:40-16:10																							
4月7日(日)	16:20-17:50																							
4月8日(月)	18:30-20:00																							
4月8日(月)	20:10-21:40																							
4月9日(火)	18:30-20:00																							
4月9日(火)	20:10-21:40									●														筒井(新入生は全員)
4月10日(水)	18:30-20:00																							
4月10日(水)	20:10-21:40																							
4月11日(木)	18:30-20:00			●																				谷本
4月11日(木)	20:10-21:40			●																				谷本
4月12日(金)	18:30-20:00																							
4月12日(金)	20:10-21:40																							
4月13日(土)	9:00-10:30																							
4月13日(土)	10:40-12:10																							
4月13日(土)	13:00-14:30																							
4月13日(土)	14:40-16:10																							
4月13日(土)	16:20-17:50																							
4月14日(日)	9:00-10:30																							
4月14日(日)	10:40-12:10																							
4月14日(日)	13:00-14:30																							
4月14日(日)	14:40-16:10																							
4月14日(日)	16:20-17:50																							
4月15日(月)	18:30-20:00							●																
4月15日(月)	20:10-21:40																							
4月16日(火)	18:30-20:00																							
4月16日(火)	20:10-21:40																							
4月17日(水)	18:30-20:00																							
4月17日(水)	20:10-21:40																							
4月18日(木)	18:30-20:00			●																				谷本・図書館司書
4月18日(木)	20:10-21:40			●																				谷本・図書館司書
4月19日(金)	18:30-20:00		●																					大森
4月19日(金)	20:10-21:40		●																					大森
4月20日(土)	9:00-10:30																							
4月20日(土)	10:40-12:10																							
4月20日(土)	13:00-14:30																							
4月20日(土)	14:40-16:10																							

領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者		
月日	時間帯	科目名	理学	看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論(休講)	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論		
			4月20日(土)	16:20-17:50																				
4月21日(日)	9:00-10:30																							
4月21日(日)	10:40-12:10																							
4月21日(日)	13:00-14:30																							
4月21日(日)	14:40-16:10																							
4月21日(日)	16:20-17:50																							
4月22日(月)	18:30-20:00																							
4月22日(月)	20:10-21:40																							
4月23日(火)	18:30-20:00																							
4月23日(火)	20:10-21:40																							
4月24日(水)	18:30-20:00	●																						前川・南・金正
4月24日(水)	20:10-21:40																							
4月25日(木)	18:30-20:00			●																				谷本・図書館司書
4月25日(木)	20:10-21:40			●																				谷本・図書館司書
4月26日(金)	18:30-20:00																							
4月26日(金)	20:10-21:40																							
4月27日(土)	9:00-10:30		●																					大森
4月27日(土)	10:40-12:10		●																					大森
4月27日(土)	13:00-14:30																							
4月27日(土)	14:40-16:10																							
4月27日(土)	16:20-17:50																							
4月28日(日)	9:00-10:30																							
4月28日(日)	10:40-12:10																							
4月28日(日)	13:00-14:30																							
4月28日(日)	14:40-16:10																							
4月28日(日)	16:20-17:50																							
4月29日(月)	18:30-20:00																							
4月29日(月)	20:10-21:40																							
4月30日(火)	18:30-20:00																							
4月30日(火)	20:10-21:40																							
5月1日(水)	18:30-20:00																							
5月1日(水)	20:10-21:40																							
5月2日(木)	18:30-20:00																							
5月2日(木)	20:10-21:40																							
5月3日(金)	18:30-20:00																							
5月3日(金)	20:10-21:40																							
5月4日(土)	9:00-10:30																							
5月4日(土)	10:40-12:10																							
5月4日(土)	13:00-14:30																							
5月4日(土)	14:40-16:10																							
5月4日(土)	16:20-17:50																							
5月5日(日)	9:00-10:30																							
5月5日(日)	10:40-12:10																							
5月5日(日)	13:00-14:30																							
5月5日(日)	14:40-16:10																							
5月5日(日)	16:20-17:50																							
5月6日(月)	18:30-20:00																							
5月6日(月)	20:10-21:40																							
5月7日(火)	18:30-20:00																							
5月7日(火)	20:10-21:40																							
5月8日(水)	18:30-20:00																							
5月8日(水)	20:10-21:40																							
5月9日(木)	18:30-20:00			●																				谷本
5月9日(木)	20:10-21:40			●																				谷本





領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者		
月日	時間帯	科目名	理学	看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論(休講)	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論		
			6月16日(日)	10:40-12:10																				
6月16日(日)	13:00-14:30																							
6月16日(日)	14:40-16:10																							
6月16日(日)	16:20-17:50																							
6月17日(月)	18:30-20:00																							
6月17日(月)	20:10-21:40																							
6月18日(火)	18:30-20:00					●																		市原・森永
6月18日(火)	20:10-21:40					●																		
6月19日(水)	18:30-20:00																							
6月19日(水)	20:10-21:40																							
6月20日(木)	18:30-20:00		●																					峠
6月20日(木)	20:10-21:40		●																					松本
6月21日(金)	18:30-20:00																							
6月21日(金)	20:10-21:40																							
6月22日(土)	9:00-10:30				●																			大森
6月22日(土)	10:40-12:10				●																			大森
6月22日(土)	13:00-14:30																							
6月22日(土)	14:40-16:10																							
6月22日(土)	16:20-17:50																							
6月23日(日)	9:00-10:30																							
6月23日(日)	10:40-12:10																							
6月23日(日)	13:00-14:30																							
6月23日(日)	14:40-16:10																							
6月23日(日)	16:20-17:50																							
6月24日(月)	18:30-20:00							●																清水・渡邊
6月24日(月)	20:10-21:40							●																清水・渡邊
6月25日(火)	18:30-20:00					●																		市原・森永
6月25日(火)	20:10-21:40					●																		市原・森永
6月26日(水)	18:30-20:00																							
6月26日(水)	20:10-21:40																							
6月27日(木)	18:30-20:00												●											峠
6月27日(木)	20:10-21:40												●											峠
6月28日(金)	18:30-20:00		●																					松本
6月28日(金)	20:10-21:40		●																					松本
6月29日(土)	9:00-10:30																							
6月29日(土)	10:40-12:10																							
6月29日(土)	13:00-14:30																							
6月29日(土)	14:40-16:10																							
6月29日(土)	16:20-17:50																							
6月30日(日)	9:00-10:30																							
6月30日(日)	10:40-12:10																							
6月30日(日)	13:00-14:30																							
6月30日(日)	14:40-16:10																							
6月30日(日)	16:20-17:50																							
7月1日(月)	18:30-20:00					●																		大森
7月1日(月)	20:10-21:40					●																		大森
7月2日(火)	18:30-20:00														●									市原
7月2日(火)	20:10-21:40															●								清水
7月3日(水)	18:30-20:00	●																						南
7月3日(水)	20:10-21:40	●																						南
7月4日(木)	18:30-20:00												●				●							峠 谷本
7月4日(木)	20:10-21:40												●				●							峠 谷本
7月5日(金)	18:30-20:00																	●						佐々木
7月5日(金)	20:10-21:40																	●						佐々木



領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者		
月日	時間帯	科目名	理学	看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論(休講)	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論		
			7月6日(土)	9:00-10:30																				
7月6日(土)	10:40-12:10																							
7月6日(土)	13:00-14:30																							
7月6日(土)	14:40-16:10																							
7月6日(土)	16:20-17:50																							
7月7日(日)	9:00-10:30																							
7月7日(日)	10:40-12:10																							
7月7日(日)	13:00-14:30																							
7月7日(日)	14:40-16:10																							
7月7日(日)	16:20-17:50																							
7月8日(月)	18:30-20:00							●																
7月8日(月)	20:10-21:40							●																
7月9日(火)	18:30-20:00																						●	
7月9日(火)	20:10-21:40																							
7月10日(水)	18:30-20:00																						●	
7月10日(水)	20:10-21:40																						●	
7月11日(木)	18:30-20:00												●											峠
7月11日(木)	20:10-21:40																							
7月12日(金)	18:30-20:00																							
7月12日(金)	20:10-21:40																							
7月13日(土)	9:00-10:30																							
7月13日(土)	10:40-12:10																							
7月13日(土)	13:00-14:30																							
7月13日(土)	14:40-16:10																							
7月13日(土)	16:20-17:50																							
7月14日(日)	9:00-10:30																							
7月14日(日)	10:40-12:10																							
7月14日(日)	13:00-14:30																							
7月14日(日)	14:40-16:10																							
7月14日(日)	16:20-17:50																							
7月15日(月)	18:30-20:00																							
7月15日(月)	20:10-21:40																							
7月16日(火)	18:30-20:00																							
7月16日(火)	20:10-21:40																							
7月17日(水)	18:30-20:00																							
7月17日(水)	20:10-21:40																							
7月18日(木)	18:30-20:00		●																					松本
7月18日(木)	20:10-21:40		●																					松本
7月19日(金)	18:30-20:00																							
7月19日(金)	20:10-21:40																							
7月20日(土)	9:00-10:30																							
7月20日(土)	10:40-12:10																							
7月20日(土)	13:00-14:30																							
7月20日(土)	14:40-16:10																							
7月20日(土)	16:20-17:50																							
7月21日(日)	9:00-10:30																							
7月21日(日)	10:40-12:10																							
7月21日(日)	13:00-14:30																							
7月21日(日)	14:40-16:10																							
7月21日(日)	16:20-17:50																							
7月22日(月)	18:30-20:00							●																
7月22日(月)	20:10-21:40							●																
7月23日(火)	18:30-20:00																							
7月23日(火)	20:10-21:40																							



領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者			
月日	時間帯	科目名	理学	看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論(休講)	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論			
8月11日(日)	14:40-16:10																								
8月11日(日)	16:20-17:50																								
8月12日(月)	18:30-20:00																								
8月12日(月)	20:10-21:40																								
8月13日(火)	18:30-20:00																								
8月13日(火)	20:10-21:40																								
8月14日(水)	18:30-20:00																								
8月14日(水)	20:10-21:40																								
8月15日(木)	18:30-20:00																								
8月15日(木)	20:10-21:40																								
8月16日(金)	18:30-20:00																								
8月16日(金)	20:10-21:40																								
8月17日(土)	9:00-10:30																								
8月17日(土)	10:40-12:10																								
8月17日(土)	13:00-14:30																								
8月17日(土)	14:40-16:10																								
8月17日(土)	16:20-17:50																								
8月18日(日)	9:00-10:30																								
8月18日(日)	10:40-12:10																								
8月18日(日)	13:00-14:30																								
8月18日(日)	14:40-16:10																								
8月18日(日)	16:20-17:50																								
8月19日(月)	18:30-20:00																								
8月19日(月)	20:10-21:40																								
8月20日(火)	18:30-20:00																		●						大森
8月20日(火)	20:10-21:40																		●						大森
8月21日(水)	18:30-20:00																								
8月21日(水)	20:10-21:40																								
8月22日(木)	18:30-20:00												●												筒井
8月22日(木)	20:10-21:40												●												筒井
8月23日(金)	18:30-20:00																								
8月23日(金)	20:10-21:40																								
8月24日(土)	9:00-10:30																								
8月24日(土)	10:40-12:10																								
8月24日(土)	13:00-14:30																								
8月24日(土)	14:40-16:10																								
8月24日(土)	16:20-17:50																								
8月25日(日)	9:00-10:30																								
8月25日(日)	10:40-12:10																								
8月25日(日)	13:00-14:30																								
8月25日(日)	14:40-16:10																								
8月25日(日)	16:20-17:50																								
8月26日(月)	18:30-20:00																								
8月26日(月)	20:10-21:40																								
8月27日(火)	18:30-20:00																								
8月27日(火)	20:10-21:40																								
8月28日(水)	18:30-20:00																								
8月28日(水)	20:10-21:40																								
8月29日(木)	18:30-20:00																								
8月29日(木)	20:10-21:40																								
8月30日(金)	18:30-20:00																								
8月30日(金)	20:10-21:40																								
8月31日(土)	9:00-10:30																								
8月31日(土)	10:40-12:10																								

領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者			
月日	時間帯	科目名	理学	看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論(休講)	看護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論			
8月31日(土)	13:00-14:30																								
8月31日(土)	14:40-16:10																								
8月31日(土)	16:20-17:50																								
9月1日(日)	9:00-10:30																								
9月1日(日)	10:40-12:10																								
9月1日(日)	13:00-14:30																								
9月1日(日)	14:40-16:10																								
9月1日(日)	16:20-17:50																								
9月2日(月)	18:30-20:00																								
9月2日(月)	20:10-21:40																								
9月3日(火)	18:30-20:00																								
9月3日(火)	20:10-21:40																								
9月4日(水)	18:30-20:00																								
9月4日(水)	20:10-21:40																								
9月5日(木)	18:30-20:00							●																	
9月5日(木)	20:10-21:40							●																	
9月6日(金)	18:30-20:00							●																	
9月6日(金)	20:10-21:40							●																	
9月7日(土)	9:00-10:30																								
9月7日(土)	10:40-12:10																								
9月7日(土)	13:00-14:30								●																藤井
9月7日(土)	14:40-16:10								●																藤井
9月7日(土)	16:20-17:50																								
9月8日(日)	9:00-10:30																								
9月8日(日)	10:40-12:10								●																藤井
9月8日(日)	13:00-14:30								●																藤井
9月8日(日)	14:40-16:10								●																藤井
9月8日(日)	16:20-17:50																								
9月9日(月)	18:30-20:00																								
9月9日(月)	20:10-21:40																								
9月10日(火)	18:30-20:00																								
9月10日(火)	20:10-21:40																								
9月11日(水)	18:30-20:00																								
9月11日(水)	20:10-21:40																								
9月12日(木)	18:30-20:00							●																	佐々木
9月12日(木)	20:10-21:40							●																	佐々木
9月13日(金)	18:30-20:00							●																	
9月13日(金)	20:10-21:40							●																	
9月14日(土)	9:00-10:30																								
9月14日(土)	10:40-12:10																								
9月14日(土)	13:00-14:30																								
9月14日(土)	14:40-16:10																								
9月14日(土)	16:20-17:50																								
9月15日(日)	9:00-10:30																								
9月15日(日)	10:40-12:10																								
9月15日(日)	13:00-14:30																								
9月15日(日)	14:40-16:10																								
9月15日(日)	16:20-17:50																								
9月16日(月)	10:40-12:10							●																	
9月16日(月)	13:00-14:30							●																	
9月16日(月)	18:30-20:00							●																	
9月16日(月)	20:10-21:40							●																	
9月17日(火)	18:30-20:00																								
9月17日(火)	20:10-21:40																								



領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者	
月日	時間帯	科目名	看護学 理論	看護学 倫理	看護学 研究方法論1	看護学 研究方法論2	看護学 教育学	看護学 管理学	臨床科学	国際看護学特論(休講)	看護学 教育特論	看護学 科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論		
10月6日(日)	14:40-16:10																						
10月6日(日)	16:20-17:50																						
10月7日(月)	18:30-20:00																						
10月7日(月)	20:10-21:40																						
10月8日(火)	18:30-20:00																						
10月8日(火)	20:10-21:40																						
10月9日(水)	18:30-20:00																						
10月9日(水)	20:10-21:40																						
10月10日(木)	18:30-20:00																						
10月10日(木)	20:10-21:40																						
10月11日(金)	18:30-20:00																						
10月11日(金)	20:10-21:40																						
10月12日(土)	9:00-10:30																						
10月12日(土)	10:40-12:10																						
10月12日(土)	13:00-14:30																						
10月12日(土)	14:40-16:10																						
10月12日(土)	16:20-17:50																						
10月13日(日)	9:00-10:30																						
10月13日(日)	10:40-12:10																						
10月13日(日)	13:00-14:30																						
10月13日(日)	14:40-16:10																						
10月13日(日)	16:20-17:50																						
10月14日(月)	18:30-20:00																						
10月14日(月)	20:10-21:40																						
10月15日(火)	18:30-20:00																						
10月15日(火)	20:10-21:40																						
10月16日(水)	18:30-20:00																						
10月16日(水)	20:10-21:40																						
10月17日(木)	18:30-20:00																						
10月17日(木)	20:10-21:40																						
10月18日(金)	18:30-20:00																						
10月18日(金)	20:10-21:40																						
10月19日(土)	9:00-10:30																						
10月19日(土)	10:40-12:10																						
10月19日(土)	13:00-14:30																						
10月19日(土)	14:40-16:10																						
10月19日(土)	16:20-17:50																						
10月20日(日)	9:00-10:30																						
10月20日(日)	10:40-12:10																						
10月20日(日)	13:00-14:30																						
10月20日(日)	14:40-16:10																						
10月20日(日)	16:20-17:50																						
10月21日(月)	18:30-20:00																						
10月21日(月)	20:10-21:40																						
10月22日(火)	18:30-20:00																						
10月22日(火)	20:10-21:40																						
10月23日(水)	18:30-20:00																						
10月23日(水)	20:10-21:40																						
10月24日(木)	18:30-20:00																						
10月24日(木)	20:10-21:40																						
10月25日(金)	18:30-20:00																						
10月25日(金)	20:10-21:40																						
10月26日(土)	9:00-10:30																						
10月26日(土)	10:40-12:10																						



# 医学専攻 (博士課程)





## 目 次

はじめに	54
共通科目講義スケジュール	55
医科学概論・特論（実技指導セミナー）開講講座	56
科目表	58
学位論文審査の流れ	62
学生生活支援について	63

## はじめに

この冊子は、大学院医学系研究科博士課程の授業科目の履修方法及び内容の一部を示したものです。

授業科目の履修方法は、「香川大学大学院学則」及び「香川大学大学院医学系研究科規程」に定められております。

なお、博士課程を修了するための要件の概要は、4年（標準）以上在学し、本医学系研究科規程「別表第2」に従い、授業科目を履修し、30単位以上を修得の上、博士論文を提出し、論文審査に合格することです。

入学年度に履修科目登録を行いますので、所定の期日までに「履修届」を提出してください。履修届の提出がなく履修した科目の修得単位は、原則的に認められませんので注意してください。

次に、科目区分による修得単位数及び授業時間数の概要を説明します。

### 【共通科目（必修科目）】6単位

必修科目であり、医学系研究科（博士課程）の共通科目として6単位修得しなければなりません。共通科目の履修については出席及びレポートで評価します。

- ・医科学概論 2単位  
4月4日・6日の集中講義20時間のうち15時間以上と実技指導セミナーを1講座受講
- ・医科学特論 2単位  
4月12日18時からの講義24時間のうち15時間以上と実技指導セミナーを1講座受講
- ・希少糖科学特論 1単位と研究・生命倫理 1単位は集中講義で行います。

### 【専門科目（選択科目）】16単位以上

選択科目は、研究テーマおよび博士論文テーマ等を基に研究を進めるための学習です。

4つの科目群から主科目を選択し、8単位以上（主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。但し、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）、副科目（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可）から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を修得します。

※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修です。

### 【課題研究】8単位 指導教員による論文指導

以上、【共通科目】6単位、【専門科目】16単位以上、【課題研究】8単位の合計30単位以上の単位を修得した上で、博士論文の審査を受けることができます。

# 2019年度香川大学大学院医学系研究科（博士課程） 共通科目講義スケジュール

医学専攻  
(博士課程)

**【医科学概論】** 集中講義15時間以上と実技指導セミナー1講座を受講 場所: 講義棟1階大講義室A

月日	9:00-9:50	9:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	18:00-19:30	19:40-21:10
4月4日 (木)		(ガイダンス) ※1	大学院とは (副研究科長) 医科学概論 <2時間>	RIの特徴と研究 への利用 (中村、西本) 医科学概論 <2時間>	動物実験に関する 教育訓練 (星野、宮下、寺中) 医科学概論 <4時間>	動物実験施設の 役割・利用者講 習会 医科学概論 <2時間>	図書館情報と研究 (医学部分館長) 医科学概論 ※2 <4時間>	
4月5日 (金)				実験実習機器部門の役割と その利用 (神島) 医科学概論 <4時間>	大学院の 国際競争力 (和田) 医科学概論 <2時間>	医療情報学 (横井) 医科学概論 <2時間>		

※1 ガイダンスで学生証をお渡しします。履修届等の提出書類について説明します。

※2 図書館情報と研究は18時から看護学科棟2階のマルチメディア実習室で行います。

**【医科学特論】** 講義15時間以上と実技指導セミナー1講座を受講 場所: 臨床講義棟1階

	18:00-19:30 (2時間)	19:40-21:10 (2時間)	
4月10日 (水)	臨床研究について (薬理学: 西山)  <2時間>	トランスレーショナル・リサーチの実際 (薬理学: 西山)  <2時間>	
4月11日 (木)	成長因子、生体内吸収材料を応用した再生医療 (呼吸器・乳腺内分泌外科学: 呉)  <2時間>	遺伝子治療と機能解析 (呼吸器・乳腺内分泌外科学: 横見瀬/劉)  <2時間>	
4月12日 (金)	形態学・組織細胞化学アップデート (組織細胞生物学: 荒木)  <2時間>	癌個別化医療に利用される解析技術 (泌尿器科学: 杉元/張)  <2時間>	
4月18日 (木)	細胞シグナル伝達解析技術: 蛋白質リン酸化とカルシウムシグナル (自律機能生理学: 平野)  <2時間>	/	
4月19日 (金)	ヒトゲノムプロジェクト、他生物ゲノム プロジェクトの動向とその意義 (総合生命科学研究センター 遺伝子研究部門: 竹崎)  <2時間>		
4月25日 (木)	高速液体クロマトグラフ法: ビリルビン分析を中心とした (小児科学: 岡田)  <2時間>		
4月26日 (金)	蛋白質機能解析技術 (自律機能生理学: 平野/山下)  <2時間>	研究手法としての形態学形態学の基礎・ 組織定量・免疫組織化学 (神経機能形態学: 三木)  <2時間>	

医学部学務課 大学院・入学試験係

2019年度医科学概論・特論(実技指導セミナー)開講講座

【 実技指導セミナー】

日時・場所については、指導教員の指示による。

専攻	講座	テーマ	主たる実験手法	指導教員	
医学専攻	神経機能形態学	STEREOLOGYによる形態計測	組織標本(2次元)にStereoogyを適応して、3次元の立体で粒子の数(例えば細胞数)を評価する方法を紹介する。	教授 准教授 助教	三木崇範 鈴木辰吾 太田健一
	分子神経生物学	神経変性疾患の病態解析用モデル動物の作成と利用	各種精神神経疾患・神経変性疾患モデルの作成と解析	教授	山本 融
	耳鼻咽喉科学	細胞のイオン輸送をリアルタイムで定量する	パッチクランプ法とイオンイメージング	准教授	宮下武憲
	炎症病理学	電子顕微鏡を使った実験の進め方	電子顕微鏡を使い、細胞の超微形態を観察する	教授	上野正樹
	皮膚科学	皮膚の組織化学	免疫組織化学染色、蛍光抗体直接法	教授 講師	窪田泰夫 中井浩三
	呼吸器・乳腺内分泌外科学	siRNAによるノックダウン	細胞核にsiRNAを導入し、ターゲット遺伝子の発現をノックダウンする実験について、講義と実習を行う。	教授 助教	横見瀬裕保 劉 大革
	小児科学	HPLCの臨床応用	高速液体クロマトグラフィーを用いて、内因性及び外因性物質を分析する。	准教授	岡田 仁
		近赤外分光法の臨床応用	近赤外分光法を用いて脳および他の臓器の循環・代謝を評価する。	教授	日下 隆
	分子生理学	発現系を用いた膜蛋白質の機能解析	対象となる受容体やイオンチャンネルをアフリカツメガエル卵母細胞に発現させ、電気生理学的にその機能を解析する。	教授	藤原祐一郎
	生化学	脂質代謝酵素の性状解析	蛋白定量及びウエスタン・ブロッティング	教授 学内講師	上田夏生 宇山 徹
	分子構造解析研究部門	3次元分子モデリングの手法を用いたタンパク質・リガンド相互作用の解析	1 タンパク質X線結晶解析によって3次元構造が決定されていく過程をコンピューター上で観察する。 2 タンパク質・リガント複合体の3次元分子モデリングをコンピューター上で行い、分子力学・動力学計算により複合体構造を評価・解析を行う。	教授 准教授	神鳥成弘 吉田裕美
	遺伝子研究部門	DNA塩基配列データ解析	DNA塩基配列データのデータベースからの収集、解析方法をコンピューターを用いて実際に行う	教授 准教授	竹崎直子 岩間久和
	薬理学	In Vivo イメージングによる病態解析	Two-photon Microscopy を駆使し、動物の各組織のリアルタイムイメージングを行う。	教授 准教授	西山 成 中野大介
	消化器神経内科	消化器癌におけるmicroRNAの網羅的解析アレイでの解析方法	microRNAの網羅的解析アレイでの解析方法	教授 講師 学内講師	正木 勉 小原英幹 森下朝洋
	泌尿器科学	CD-DST法による抗がん剤感受性試験	コラーゲン・ゲル・ドロップ培養法で抗癌剤感受性を評価する	教授 助教	杉元幹史 張 霞
	眼科学	糖尿病網膜症の分子メカニズム	網膜虚血および緑内障モデルの作成	教授	鈴間 潔
内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学	細胞への遺伝子導入法	細胞への遺伝子導入は分子生物学的実験の基本となっている。今回は、実際の細胞、プラスミドを使用し、導入効率も含め一貫した遺伝子導入法のプロセスの説明をおこないたい。	教授 准教授	村尾孝児 井町仁美	
免疫学	フローサイトメトリーの原理と実際	フローサイトメトリーを用いた細胞表面抗原の評価	教授 助教 助教	星野克明 仁木敏朗 財賀大行	
公衆衛生学	生物統計学への招待	研究で使用する基本的統計処理手法について解説し、サンプルデータを用いた実技指導を行なう。	教授 准教授	平尾智広 宮武伸行	

# 大学院医学系研究科博士課程の修了要件

区分		修了要件単位数
共通科目	医科学概論	2
	医科学特論	2
	希少糖科学特論	1
	研究・生命倫理	1
専門科目	ライフサイエンス科目群	16
	トランスレーショナルリサーチ科目群	
	臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	
	がんプロフェッショナル養成科目群	
課題研究	合計	8
		30

- ※講義15時間以上と実技セミナー1講座
- ※講義15時間以上と実技セミナー1講座
- ※集中講義
- ※倫理委員会主催の講習1回以上とCITILJapan倫理教育 (e-learning)

区分	各科目群ごとの専門科目修了要件	○は選択科目群 修了要件単位数
----	-----------------	--------------------

○ ライフサイエンス科目群	8	指導教員担当科目を1科目以上
トランスレーショナルリサーチ科目群	4	
臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	4	
がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ修了要件となる)		

○ トランスレーショナルリサーチ科目群	8	指導教員担当科目を1科目以上
ライフサイエンス科目群	4	
臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	4	
がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ修了要件となる)		

○ 臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	8	指導教員担当科目を1科目以上
ライフサイエンス科目群	4	
トランスレーショナルリサーチ科目群	4	
がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ修了要件となる)		

○ がんプロフェッショナル養成科目群	8	共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目の8単位は必修
ライフサイエンス科目群	4	
トランスレーショナルリサーチ科目群	4	
臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群		

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)
			必修	選択	
共通科目	医科学概論	1前	2		南野 哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学) 他
	医科学特論	1前	2		南野 哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学) 他
	希少糖科学特論	1後	1		星野克明 (免疫学)・新井明治 (国際医動物学) 村尾孝児 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
	研究・生命倫理	1前	1		南野 哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・西山 成 (薬理学)
	小計			6	
専門科目 基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ①ライフサイエンス科目群	希少糖の機能	1・2通		4	星野克明 (免疫学)・西山 成 (薬理学)
	発達神経科学	1・2通		4	三木崇範 (神経機能形態学)・日下 隆 (小児科学)
	分子形態学特論	1・2通		2	荒木伸一 (組織細胞生物学)・横平政直 (腫瘍病理学)・ 江上洋平 (組織細胞生物学)
	組織細胞科学特論	1・2通		4	荒木伸一 (組織細胞生物学)・横平政直 (腫瘍病理学)・ 江上洋平 (組織細胞生物学)
	神経細胞生物学特論	1・2通		4	山本 融 (分子神経生物学)・宮下信泉 (動物実験部門)
	神経生理学	1・2通		4	藤原 祐一郎 (分子生理学)・山本 融 (分子神経生物学)
	生体分子センサー特論	1・2通		4	藤原 祐一郎 (分子生理学)
	呼吸循環生理学	1・2通		4	平野勝也 (自律機能生理学)・山下洋一 (心臓血管外科)
	循環生理シグナル伝達学	1・2通		4	平野勝也 (自律機能生理学)・野間貴久 (循環器内科)
	薬理学特論	1・2通		4	西山 成 (薬理学)・岡田仁 (小児科学)
	脂質生物学	1・2通		4	上田夏生・大西 平 (生化学)
	酵素学実験法	1・2通		4	上田夏生・大西 平 (生化学)
	医用有機化学特論	1通		4	和田健司 (医用化学)
	医用分析化学特論	2通		4	和田健司 (医用化学)
	分子内分泌学	1・2通		4	中村隆範 (分子細胞機能学)・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
	核医学画像解析	1・2通		2	久富信之 (医用物理学)
	毒性病理学	1・2通		2	松田陽子・横平政直 (腫瘍病理学)
	分子神経病理学	1・2通		4	三木崇範 (神経機能形態学)・上野正樹・千葉陽一 (炎症病理学)
	免疫組織化学	1・2通		4	上野正樹・千葉陽一 (炎症病理学)
	免疫制御学	1・2通		4	星野克明 (免疫学)
	寄生虫学特論	1・2通		2	新井明治 (国際医動物学)
	衛生動物学特論	1・2通		2	新井明治 (国際医動物学)
	微生物ゲノム科学	1・2通		2	桑原知巳 (分子微生物学)
	生活習慣病予防論	1・2通		2	宮武伸行 (衛生学)
	臨床疫学	1前		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	生物統計学	1前		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	医療管理学	1後		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	健康危機管理論	2前		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	国際保健論	2後		1	平尾智広 (公衆衛生学)・宮武伸行 (衛生学)
	法医学特論	1・2通		2	木下博之 (法医学)
	医学教育学特論	1・2通		2	岡田宏基・坂東修二 (医学教育学)
	遺伝情報解析学	1・2通		4	竹崎直子・岩間久和 (総合生命科学研究センター)
	疾患ゲノム情報学	1・2通		4	竹崎直子・岩間久和 (総合生命科学研究センター)
生体分子立体構造学	1・2通		2	神鳥成弘・吉田裕美 (総合生命科学研究センター)	
実験動物学・動物遺伝学	1・2通		2	宮下信泉 (動物実験部門)	
糖鎖構造解析	1・2通		2	中北慎一 (糖鎖機能解析研究部門)	
小計				105	

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)	
			必修	選択		
専 門 科 目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ②トランスレーショナルリサーチ科目群	希少糖と生活習慣病	1・2通	2	星野克明(免疫学)・西山 成(薬理学)	
		バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2	荒木伸一(組織細胞生物学)・横平政直(腫瘍病理学)・江上洋平(組織細胞生物学)	
		中耳・内耳バイオイメージング	2通	2	星川広史・宮下武憲(耳鼻咽喉科学)	
		形成外科におけるバイオイメージング	1・2通	2	永竿智久(形成外科学)・久富信之(医用物理学)	
		細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4	平野勝也(自律機能生理学)	
		生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4	西山 成(薬理学)・宮武伸行(衛生学)	
		iPS細胞の応用	1・2通	2	西山 成(薬理学)・三宅啓介(脳神経外科学)	
		糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4	中村隆範(分子細胞機能学)・中北慎一(糖鎖機能解析研究部門)	
		発がん機構	1・2通	2	松田陽子・横平政直(腫瘍病理学)	
		免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4	星野克明(免疫学)	
		微生物共生システムと応用	1・2通	2	桑原知巳(分子微生物学)	
		健康測定・アセスメント	1・2通	2	宮武伸行(衛生学)	
		医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1	平尾智広(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)	
		医療政策論	1後	1	平尾智広(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)	
		死因究明技術の開発	1・2通	2	木下博之(法医学)	
		タンパク質分子設計	1・2通	2	神島成弘・吉田裕美(総合生命科学センター)	
		精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4	山本 融(分子神経生物学)・宮下信泉(動物実験部門)	
		臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1	窪田泰夫(皮膚科学)	
		臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1	窪田泰夫(皮膚科学)	
		睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1・2通	4	中村 祐・角 徳文(精神神経医学)・安藤延男(地域連携精神医学)	
		認知症診断の技術研究	1・2通	4	中村 祐・角 徳文(精神神経医学)・安藤延男(地域連携精神医学)	
		脂質異常症と心血管病	1・2通	4	南野哲男(循環器・腎臓・脳卒中内科学)・野間貴久(循環器内科)	
		食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2	南野哲男(循環器・腎臓・脳卒中内科学)・野間貴久(循環器内科)	
		周産期の脳発達と子供の健康	1通	4	三木崇範(神経機能形態学)・日下隆(小児科学)	
		高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2	日下 隆・岡田 仁(小児科学)	
		近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2	日下 隆・岡田 仁(小児科学)	
		骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4	山本哲司・真柴 賛(整形外科)	
		前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2	杉元幹史(泌尿器科学)	
		低侵襲手術術式の開発	2通	2	杉元幹史(泌尿器科学)	
		癌とマイクロRNA	1通	2	正木 勉・出口一志(消化器・神経内科学)	
		癌と遺伝子異常	2通	2	正木 勉・出口一志(消化器・神経内科学)	
		分子イメージングの臨床応用	1・2通	4	西山佳宏・山本由佳(放射線医学)	
		動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4	村尾孝児・井町仁美(内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)	
		病理診断学の臨床応用	1・2通	4	羽場礼次(病理診断科)	
		神経保護薬の臨床開発	1・2通	4	鈴間 潔(眼科学)	
		医工融合による医療機器開発	1・2通	1	永竿智久(形成外科学)・久富信之(医用物理学)	
		救急・生体侵襲制御	1・2通	2	黒田泰弘(救急災害医学)	
		臨床栄養・微生物学	1・2通	4	下野隆一(小児外科学)	
		小計			101	



医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)	
			必修	選択		
専 門 科 目	③ 臨床医・ 高度医療人育成コース ・ メデイカリスト ・ スタッフ養成 科目群	希少糖医学	1前		1	星川広史 (耳鼻咽喉科学)
		地域医療学	1後		1	舛形 尚 (総合内科)
		高齢者医療学	1前		1	星川広史 (耳鼻咽喉科学)
		医療倫理	1前		1	南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・岡田宏基 (医学教育学)
		生活習慣病学	1後		1	村尾孝児 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
		災害医療・災害医学	1後		1	黒田泰弘 (救急災害医学)
		神経病学	1・2通		2	中村 祐・角 徳文 (精神神経医学)・出口一志 (消化器・神経内科学)
		脳神経外科学	1・2通		2	田宮 隆・三宅啓介 (脳神経外科学)
		運動器病学	1・2通		2	山本哲司・真柴 賛 (整形外科)
		精神病学	1・2通		4	中村 祐・角 徳文 (精神神経医学)
		腎・泌尿器病学	1・2通		4	西山 成 (薬理学)・南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・杉元幹史 (泌尿器・副腎・腎移植外科)
		感染症学	1・2通		2	岡田宏基 (医学教育学)
		血液病学 (血液・造血器・リンパ)	1・2通		2	門脇則光 (血液免疫呼吸器内科学)・岡田宏基 (医学教育学)
		免疫・アレルギー疾患学	1・2通		2	門脇則光 (血液免疫呼吸器内科学)
		呼吸器病学	1・2通		4	門脇則光 (血液免疫呼吸器内科学)・横見瀬裕保 (呼吸器乳腺内分泌外科学)・呉 哲彦 (呼吸器外科)
		乳腺内分泌外科学	1・2通		2	紺谷圭一 (呼吸器乳腺内分泌外科学)
		消化器病学	1・2通		2	正木 勉・出口一志 (消化器・神経内科学)・鈴木康之 (消化器外科学)
		循環器病学	1・2通		2	堀井泰浩・山下洋一 (心臓血管外科学)・南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・野間貴久 (循環器内科)
		母子周産期医学	1・2通		2	金西賢治・田中宏和 (周産期学婦人科学)
		皮膚病学	1・2通		2	窪田泰夫 (皮膚科学)
		眼病学	1・2通		2	鈴間 潔 (眼科学)
		口腔病学	1・2通		2	三宅 実・大林由美子 (歯科口腔外科学)
		頭頸部病学	1通		2	星川広史・宮下武憲 (耳鼻咽喉科学)
		耳鼻咽喉疾患学	2通		2	星川広史・宮下武憲 (耳鼻咽喉科学)
		放射線医学	1・2通		2	西山佳宏・山本由佳 (放射線医学)
		痛み学	1通		2	白神豪太郎 (麻酔学)
		呼吸循環制御学	2通		2	白神豪太郎 (麻酔学)
		小児科学	1・2通		2	日下 隆・岡田 仁 (小児科学)
		内分泌代謝学	1通		2	村尾孝児・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
		糖尿病学	2通		2	村尾孝児・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
		救急救命医学	1・2通		2	黒田泰弘 (救急災害医学)
		形態機能学	1・2通		2	永竿智久 (形成外科学)・真柴 賛 (整形外科)
		薬学	1・2通		2	芳地 一 (薬剤部)
小児外科学	1・2通		4	下野隆一 (小児外科学)		
小計				70		

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)							
			必修	選択								
専 門 科 目	④がんプロフェッショナル養成科目群 高度医療人育成コース	研究方法论応用 ・がん疫学論 ・臨床研究論 ・医療統計学	1	1前	4	e-learning外						
							悪性腫瘍の管理と治療 ・検査、診断法概論 ・治療法概論 ・治療合併症、支持療法、緩和治療 ・老年腫瘍学 ・がんの心理社会的側面	1	1後			
										医療倫理学・医療経済学	0.5	1・2通
										医療対話学	0.5	1・2通
		がんチーム医療実習	0.5	1・2通								
		医療情報学(腫瘍学における情報システム)	0.5	1・2通								
		がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臨床検査、病理、放射線診断学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療	1	2通			4					
			0.5	2通								
			2	2通								
			0.5	2通								
		が 選 択 専 門 科 目	放射線治療法	2通			1	柴田 徹(放射線腫瘍学)				
			臨床腫瘍学	2・3通			2	辻 晃仁(臨床腫瘍学)				
			放射線腫瘍学	2・3通			2	柴田 徹(放射線腫瘍学)				
		小計					13					
		課題研究		3・4通			8					

(履修方法)

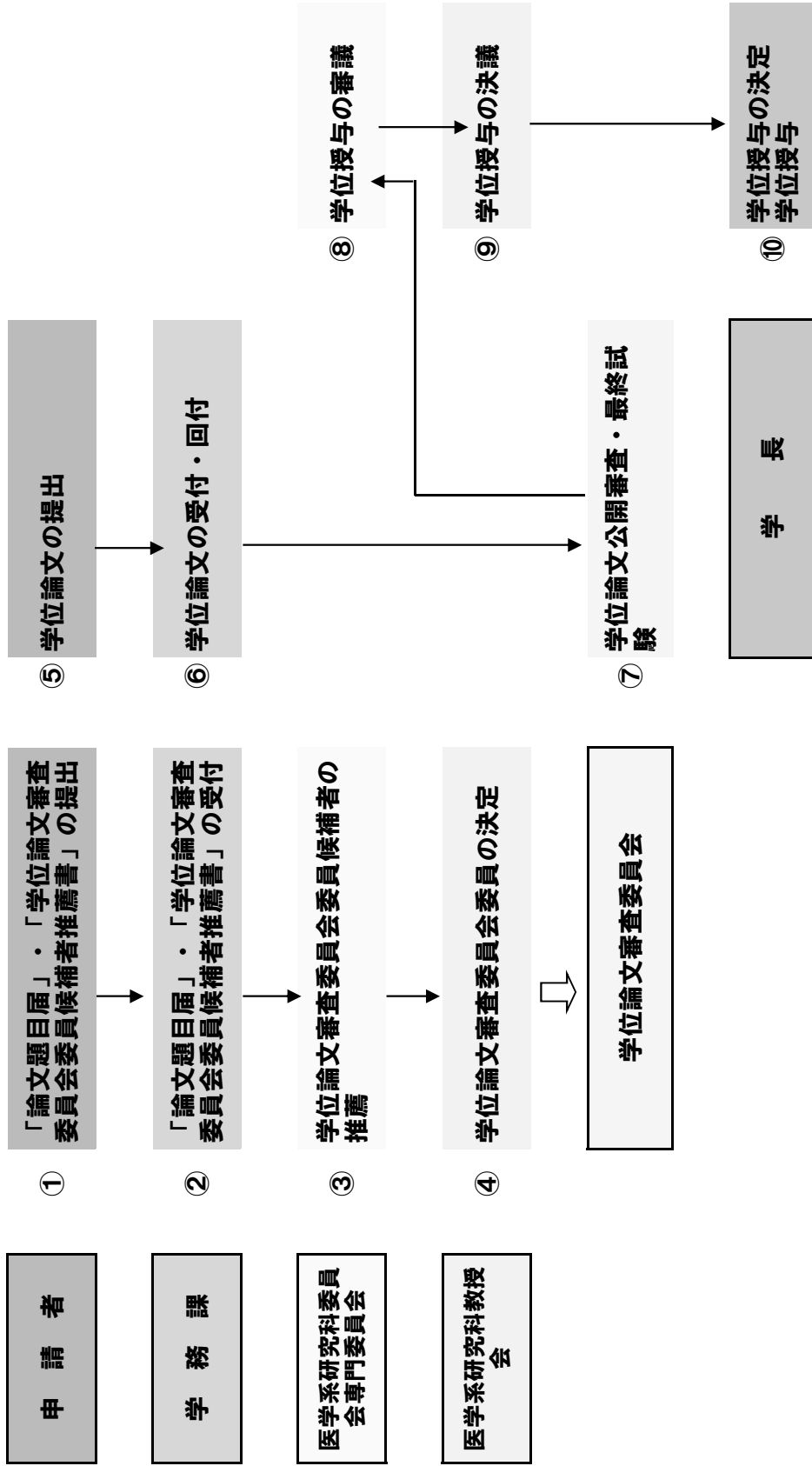
(1) 共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。

(2) 専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。

※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修とする。

# 学位論文審査の流れ

課程博士



## 学生生活支援について

### 1 授業料免除

学業優秀と認められる者で、経済的理由により授業料を所定の期日までに納入することが困難な者は、願い出により選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除することがある。

### 2 独立行政法人日本学生支援機構（育英奨学事業）

人物、学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、日本学生支援機構奨学規程に基づいて、次の奨学金が貸与される。

種 別	貸 与 月 額
第一種奨学金（無利子）	80,000 円、122,000 円、
第二種奨学金（有利子）	5 万円、8 万円、10 万円、13 万円、15 万円

### 3 学生教育研究災害傷害保険制度

大学に学ぶ学生が被る種々の正課中及び課外活動中及び通学中の災害に対する被害救済の措置を目的とした制度。正課中及び課外活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故や、住居と学校施設等との間の通学、学校施設間相互の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる。本学では、この保険制度を採用し、入学者全員加入とし、各自で保険加入手続きを行うよう指導している。

### 4 学研災付帯学生生活総合保険

上記3の保険と同時に加入手続きを行ってもらい、在学中に偶発的な事故及び臨床実習中における他人への賠償責任事故・針刺し事故等感染事故を補償する制度。医学系研究科ではこの保険に加入することを勧めている。

### 5 健康管理

学生、教職員の保健管理業務を専門的に集中的に取り扱うことを目的として、専任の医師、保健師による保健管理センター医学部分室を設置している。定期健康診断の他に、心身の健康や精神面の相談。採用試験等必要な場合、願い出による健康診断書の発行を行っている。その他、救急薬品を常備し、簡単な応急処置、カウンセラーによる相談も行っている。

### 6 学生生活相談

学務課（管理棟1階）の窓口において、修学上の問題、学内の施設案内等、どんな小さなことでも相談にのりますので、一人で思い悩むことなく、気軽に相談してください。

### 7 特別待遇学生（特待生）制度

3・4年生対象に学業成績、人物共に特に優れた者に授業料免除を与える制度がある。

### 8 学会発表助成

国内及び海外における研究発表を行う場合の旅費の補助がある。

**注意！ 連絡事項は基礎臨床研究棟1階の大学院生用掲示板で行います。**



**GRADUATE SCHOOL  
OF MEDICINE**

**Master's  
and  
Doctoral  
Course**



**KAGAWA  
UNIVERSITY**